

# 患者が求めるがん対策 vol.2

## ～がん患者意識調査 2010年～



**市民医療協議会**  
Commission on Citizens and Health

**日本医療政策機構**  
Health and Global Policy Institute

## ■日本医療政策機構とは

特定非営利活動法人 日本医療政策機構（東京・千代田区）は、「フェアで健やかな社会を実現するために、新しいアイデアや価値観を提供し、グローバルな視点で社会にインパクトを与え、変革を促す原動力となること。我々は、将来を見据えた幅広い観点から、政策に関心を持つ市民に選択肢を提示し、多分野のステークホルダーを結集し、創造性に富み実現可能な解決策を示す。」をミッションとする、超党派・民間・非営利の医療政策シンクタンクです。

<http://www.hgpi.org/>

## ■市民医療協議会 がん政策情報センターとは

市民医療協議会は、日本医療政策機構において、市民・患者主体の医療政策の実現を推進している部門です。がん政策情報センターは、市民医療協議会内のがん対策担当チームです。

<http://shimin-iryou.org/>

<http://ganseisaku.net/>

## ■がん患者意識調査について

がん患者・経験者やその家族・遺族の実体験からがん医療政策に関連する問題点や課題を可視化するとともに、がん対策についてのニーズを把握することを目的として09年度より毎年実施している調査です。

09年度の報告書については、下記URLよりご覧いただけます。

[http://ganseisaku.net/impact/reports/gan\\_ishiki\\_2009/](http://ganseisaku.net/impact/reports/gan_ishiki_2009/)

※Googleなどの検索エンジンで「がん患者意識調査 2009」と検索していただければトップに表示されます。



## はじめに

この調査は昨年度（2009年度）に引き続き行われた、がん患者さんやご家族の皆さまを対象とした意識調査です。調査に協力いただいた皆さまの実体験をもとに、がん医療政策やがん対策における問題点や課題を明らかにすることを目的として実施いたしました。

2007年に「がん対策基本法」が施行されてから4年が経過し、さまざまながん対策が行われています。そのような中、がん対策の実際の受け手であるがん患者さんやご家族の声から問題点や課題を可視化し、より良いがん対策が実施されるために参考にするという機運も高まりつつあります。この調査の結果も、患者さんやご家族の声を政策や対策に反映させるというプロセスに貢献することができればと考えています。

患者さんやご家族、お一人お一人の貴重な声が詰まった今回の結果を、皆様の今後の活動にお役立ていただければ幸いです。

特定非営利活動法人 日本医療政策機構  
市民医療協議会 がん政策情報センター  
センター長 埴岡 健一

2011年4月27日



## 目次

### がん患者意識調査 2010年 調査結果

調査概要	...1
①緩和ケアのニーズがあつたが受けられなかったと感じている人が4割	...2
②がんの診断や治療で「こころ」と「からだ」の痛み6割が感じる	...3
③がん治療にかかった費用について7割が負担感大	...4
④がん医療に「不満足」 5人に1人、理由は精神面のサポート不足が首位	...5
⑤「がん難民」であると感じた経験のある人8.4%	...6
⑥がん検診を受けない理由は「必要性を感じなかった」が首位	...7
⑦がん患者・家族、たばこ対策について高い意識	...8
⑧がん患者の声「政策に反映されていない」 63.7%	...9
謝辞	...10

### 資料編

アンケート用紙

単純集計表



## 患者が求めるがん対策 vol.2

～がん患者意識調査 2010年～

### 調査概要

- 調査対象： がん関連の患者団体に所属しているがん患者・経験者とその家族・遺族 等
- 調査方法： 郵送調査、インターネット調査  
※郵送調査／全国のがんに関連する患者団体の連絡先\*より抽出した101団体に協力を依頼し、承諾が得られた74団体から各会員へ郵送  
※インターネット調査／全国のがんに関連する患者団体の連絡先\*より抽出した患者団体にe-mailで依頼し、団体ウェブページやメーリングリストなどで調査専用 ウェブサイトを告知  
\* 患者団体の連絡先については、「いいなステーション」にご協力をいただいた
- 調査期間： 2010年11月4日～12月20日
- 有効回答数： 1,446件  
郵送:1,286件(89%)、ウェブ:160件(11%)  
※回答者のうち、09年度も回答いただいた人は397人

### 回答者内訳

回答者の立場	がんの部位	診断からの経過年数
<ul style="list-style-type: none"><li>■ がん患者、経験者 79.9%</li><li>■ 家族 10.9%</li><li>■ 遺族 6.8%</li><li>■ 無回答、無効回答 2.4%</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 乳房 30.4%</li><li>■ 血液・リンパ 17.2%</li><li>■ 胃 7.8%</li><li>■ 大腸 7.5%</li><li>■ 肺 5.7%</li><li>■ 肝臓 5.1%</li><li>■ 喉頭 3.3%</li><li>■ 子宮 3.0%</li><li>※上位8つ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 1年未満 5.3%</li><li>■ 1年以上3年未満 19.2%</li><li>■ 3年以上5年未満 16.0%</li><li>■ 5年以上10年未満 27.0%</li><li>■ 10年以上15年未満 15.8%</li><li>■ 15年以上20年未満 7.9%</li><li>■ 20年以上 6.4%</li><li>■ 無回答 2.5%</li></ul>
性別		
<ul style="list-style-type: none"><li>■ 男性 38.5%</li><li>■ 女性 61.3%</li><li>■ 無回答 0.3%</li></ul>		

注) 四捨五入のため、割合(%)の合計値があわない場合がございます

## 患者が求めるがん対策 vol.2

～がん患者意識調査 2010年～

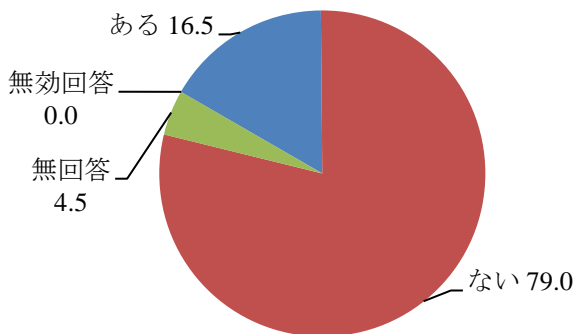
## ①緩和ケアのニーズがあったが受けられなかったと感じている人が4割

緩和ケア\*について「受けたことがない」と回答した人は79.0%であった。その中で「受ける必要がなかった」人は57.8%、「受けられると知らなかった」人は28.8%、「受けたくても受けられなかった」人は9.9%となっており、38.7%の人が緩和ケアのニーズを持っていたが、受けることができなかったと感じていると推測できる。「受けたくても受けられなかった」理由としては「緩和ケアに関するサービスについての情報がなかった」との回答が最も多く、65.5%であった（その他の回答は単純集計表の11ページを参照のこと）。

\*本調査においては、「がんそのものの痛みや治療による“からだの痛み”や不安や落ち込みなどの“こころの痛み”等をやわらげること」とした

図①-1

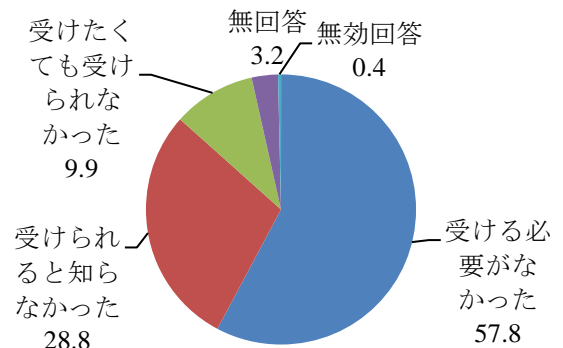
「緩和ケア」を受けたことはありますか。(問16)



(単位: %, n=1,446)

問①-2

「緩和ケア」を受けたことがないと答えた方に理由は何ですか。(問16-2)



(単位: %, n=1,142)

自由記述欄に寄せられたコメント(抜粋。表記の統一など、文意の変わらない範囲で変更しました)

- 緩和ケア、つまり痛みをとりのぞくことにもっと力を入れてください。苦痛をとってください。(遺族、60歳代、男性、肺)
- 緩和医療の充実。がんを根絶する医療ではなく、がんと共存する医療であってほしい。ほどほどにの精神で！(がん患者・経験者、50歳代、女性、乳房)
- がん拠点病院でありながら緩和ケアチームに常勤の精神科医がいない。緩和ケア外来が事実上ない。他院で緩和ケア外来は受け入れてもらえない(どこも自院の患者のみ)というのを何とかしてくれないと、必要になったときの不安が大。(がん患者・経験者、40歳代、女性、卵巣)

【まとめ】 緩和ケアについて、受ける必要があったが受けられなかったと感じている人の存在が明らかになった。がん対策推進基本計画においては、すべての患者や家族が、治療の初期段階から切れ目なく緩和ケアが受けられることを目標としているが、現実はまだ遠いことが分かる。現に治療を受けている患者・家族に広く緩和ケアが提供されるよう、速効性のある対策が望まれる。

その他の結果については、資料編の単純集計表もご参照ください

## 患者が求めるがん対策 vol.2

～がん患者意識調査 2010年～

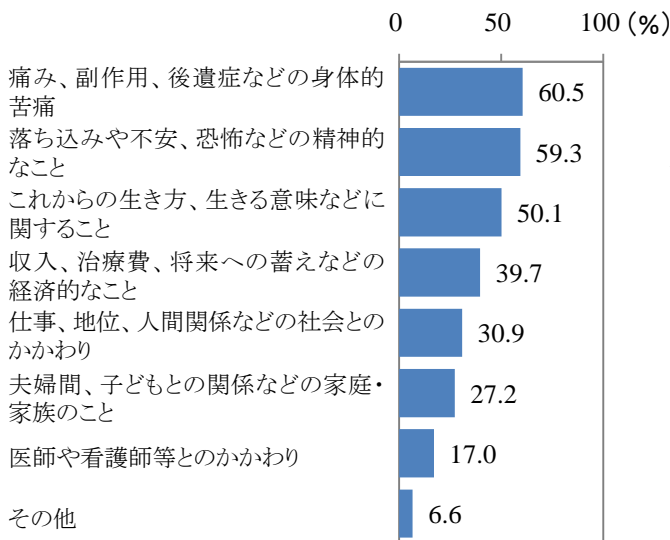
## ②がんの診断や治療で「こころ」と「からだ」の痛み6割が感じる

がんの診断や治療で抱いた悩みについては、回答数が多い順に「痛み、副作用、後遺症などの身体的苦痛」(60.5%)、「落ち込みや不安、恐怖などの精神的なこと」(59.3%)、「これからの生き方、生きる意味などに関すること」(50.1%)、「収入、治療費、将来への蓄えなどの経済的なこと」(39.7%)であった。

がんの診断や治療でどのようなサポートがあれば良かったかという問いについては、「医療従事者によるがん医療やサービスについての情報提供サポート」(63.8%)との回答が最も多く、次いで「カウンセラーや精神腫瘍医など心の専門家による精神面のサポート」(39.8%)、「ピア(仲間)による医療やサービスについての情報提供サポート」(39.6%)であった。

図②-1

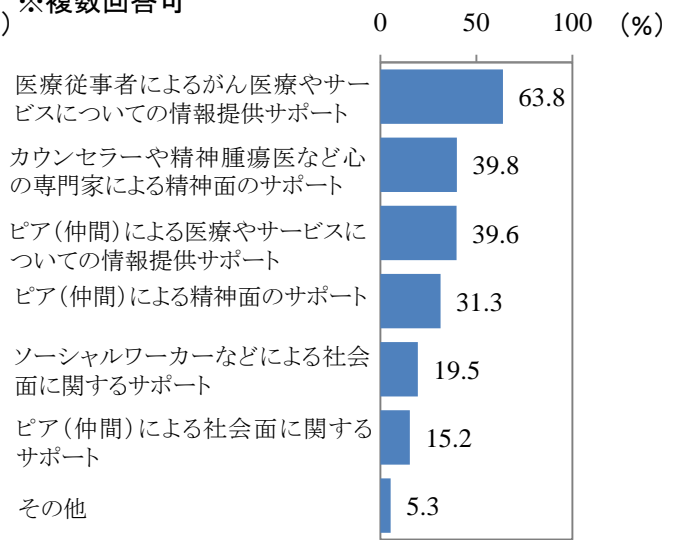
がんの診断や治療を通して、どのようなことについて悩みましたか。(問19)※複数回答可



(単位: %, n=1,446)

図②-2

がんの診断や治療を通して、どのようなサポートがあれば良かったと思いますか。(問20)※複数回答可



(単位: %, n=1,446)

自由記述欄に寄せられたコメント(抜粋。表記の統一など、文意の変わらない範囲で変更しました)

- ・痛みを感じる体だけでなく、傷ついた心のケアも自然にできるような体制があれば本当によいと思う。(がん患者・経験者、60歳代、女性、乳房)
- ・チーム医療がとても大切だと思う。治療を受けた病院で“からだの痛み”“心の痛み”などがみてもらえて、相談できること。(立場について回答なし、50歳代、女性、乳房)

【まとめ】 がんの診断や治療で身体的な痛みや精神的な苦痛が依然として存在することが明らかになった。がんの治療を通しては医療従事者による情報提供サポートや心の専門家による精神面のサポートについてのニーズと共に、ピア(仲間)による情報提供サポートを求める声もあがっている。ニーズに応じて専門家やピアが効率よく協働しながらサポートできる体制を検討していくことが重要である。

その他の結果については、資料編の単純集計表もご参照ください



## 患者が求めるがん対策 vol.2

～がん患者意識調査 2010年～

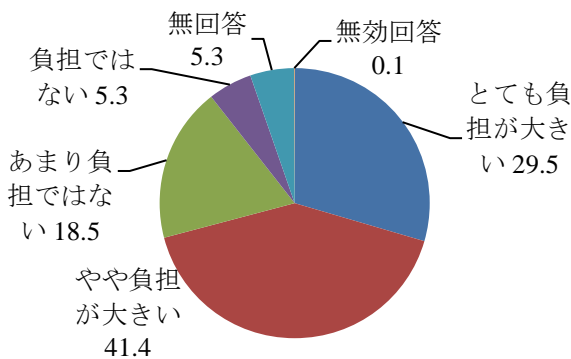
## ③がん治療にかかった費用について7割が負担感大

がんの治療にかかった費用について、「とても負担が大きい」「やや負担が大きい」と回答した人はあわせて70.9%であった。全回答者のうちの5.7%が、経済的負担が原因となって治療を中断・変更した経験があると回答している。

経済的な負担を軽減するための策として、最も回答が多かったのは「高額療養費制度など、一定額を超える出費を補てんする制度の充実させる」(60.2%)、次いで「医療費のうち保険でカバーされる範囲を広げる」(52.4%)であった。

図③-1

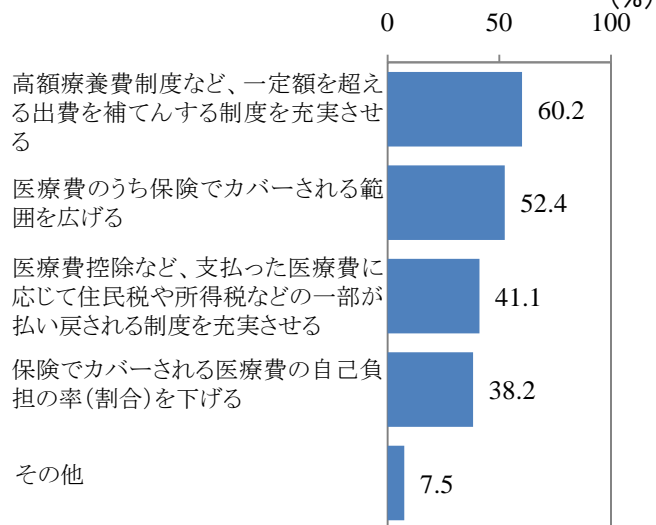
がんの治療にかかった費用は、どの程度の負担感がありましたか。(問24)



(単位: %, n=1,446)

図③-2

経済的な負担を軽減するには、どのような方法がよいと思いますか。(問26)※複数回答可 (%)



(単位: %, n=1,446)

自由記述欄に寄せられたコメント(抜粋。表記の統一など、文意の変わらない範囲で変更しました)

- 個人としては、治療その後の副作用や体調の悪さで働けない。よって経済的負担がとても辛い。しかし、この国のお金の苦しさを考えると無理はけっして国民としては言えない。いったい、どうしたらいいのだろうと苦しんでいる。(がん患者・経験者、50歳代、女性、血液・リンパ)
- 日本は他国にくらべると保険制度は整っている様に思うが、実際に治療を受けるととても高額だと感じます(特にがん治療について)。経済的負担の為に治療をあきらめたりする事のない様にして頂きたい。そのための財源をふやしてほしい。しっかり仕分けをして無駄なところからしっかりと取ってきてほしい。生命に関わることなので、最優先に考えて頂きたい。(がん患者・経験者、40歳代、女性、乳房)

【まとめ】 がんの治療における患者・家族の負担感は大きく、その解決策の検討が喫緊の課題となっている。患者・家族の声からは高額療養費制度の充実が最も回答数が多かったが、今後は財源をどうするかといったことも含みながら、さまざまなデータを参考にし、納得感も得られ実現可能性の高い解決策の実施が必要である。

その他の結果については、資料編の単純集計表もご参照ください



## 患者が求めるがん対策 vol.2

～がん患者意識調査 2010年～

## ④がん医療に「不満足」5人に1人、理由は精神面のサポート不足が首位

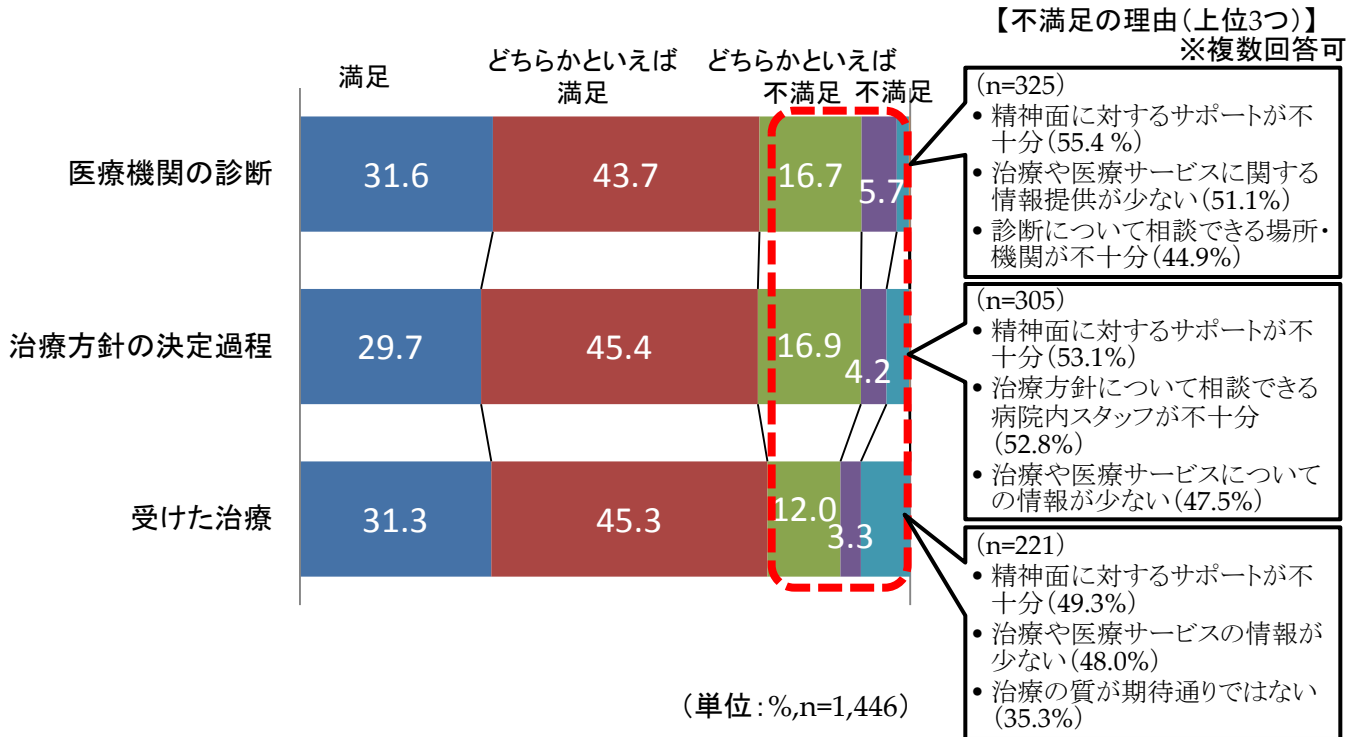
がんの診断、治療方針の決定過程、受けた治療、3つのポイントの満足度については、「不満足」「どちらかといえば不満足」と回答した人を合わせると、おおよそ5人に一人が不満足と回答している。不満足の原因を聞いたところ、いずれのポイントにおいても、「精神面に対するサポートが不十分」との理由に最も多くの回答が集まった。

図④-1

がんと診断されたとき、医療機関の診断は満足いくものでしたか。(問13)

初期の主たる治療方針について、治療方針の決定過程は満足いくものでしたか。(問14)

現在あるいは直近の治療について、受けた治療は満足いくものでしたか。(問15)



自由記述欄に寄せられたコメント(抜粋。表記の統一など、文意の変わらない範囲で変更しました)

- ・医師不足の現状の中で仕方がないかとあきらめつつも、患者の肉体的な観かたのみに流されて、患者の“心”の傷は淋しいかぎりです。(がん患者・経験者、70歳代、女性、乳房)
- ・術後の心のケアがほしかったです。(がん患者・経験者、60歳代、女性、胃)
- ・がんを宣告された後の身の振り方を相談できる機関、手術退院後の心身の面をケアしてくれる機関が必要(がん患者・経験者、60歳代、女性、胃)

【まとめ】 がんの診断や治療に対する満足度を上げるために、精神面に対するサポートを充実させることが有効だという可能性が示されており、今後はそのサポートをより充実させるための具体的な対策を推進する必要がある。なお、今回の回答者はいったん治療が落ち着いた人が多い。治療初期など、その他のさまざまな状況におけるニーズについても考慮することが大切である。

その他の結果については、資料編の単純集計表もご参照ください

## 患者が求めるがん対策 vol.2

～がん患者意識調査 2010年～

## ⑤「がん難民」と感じた経験のある人8.4%

いわゆる「がん難民\*」といわれる状況に置かれたことがあると回答した人は8.4%であった。がんの治療やケアを通して医療機関を移ったことがある人\*\*のみをみると、その18.7%が「がん難民」といわれる状況に置かれたことがあると回答している。

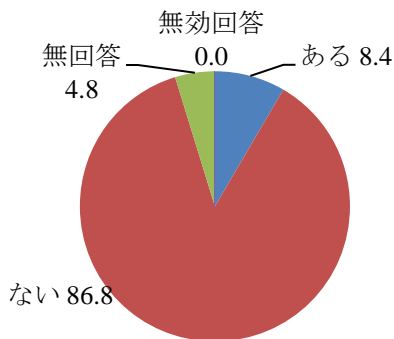
なお、がんの治療やケアを通して医療機関を移ったことがある人は全回答者のうちの28.9%であり、移ったきっかけについては「自分で決めた」との回答が最も多く46.7%であった(単純集計行の12ページ参照のこと)。

\*本調査においては、「はじめの主な治療が終了したあと、がんの治療やケアを通してこれからどの医療機関にかかれば良いか分からない状況」とした

\*\*がんの治療やケアを通して医療機関を移った事がある人は418人であった

図⑤-1

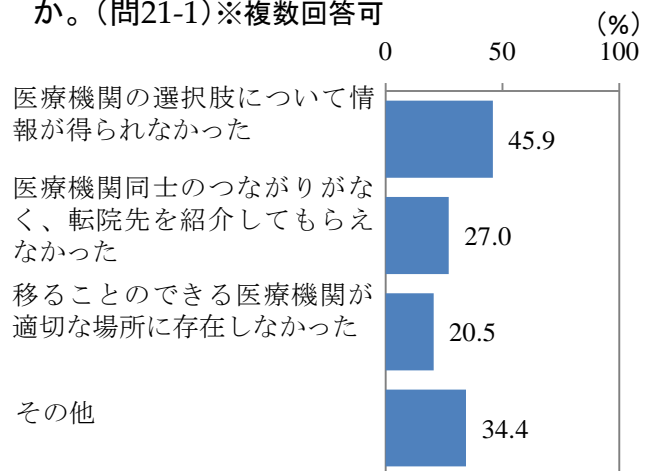
いわゆる「がん難民\*」といわれる状況)に置かれたことはありますか。(問21)



(単位: %, n=1,446)

図⑤-2

(「ある」と答えた方に)理由は何だと思いますか。(問21-1)※複数回答可



(単位: %, n=122)

自由記述欄に寄せられたコメント(抜粋。表記の統一など、文意の変わらない範囲で変更しました)

- 地方の医師不足の現状はひどいものです。都市部と違って医師を選ぶことはまず不可能です。その上待ち時間は長く、一日がかりでの通院となり、ろくにインフォームドコンセントの時間ありません。この医師の偏った状況をなんとかしてほしい。地方に住む者はがん難民になる確率が高いと思います。(がん患者・経験者、50歳代、女性、乳房)
- 診察の時、もう少しゆっくりと時間をかけて説明をしてもらいたい。本人の精神的サポートを充実させてほしい。総合病院は抗ガン剤治療ができなくなると、急に目はなされるように思います。ガン難民になり、受け入れてもらう病院との信頼を築くのが難しい。本人も生きる力を失うように思います。(遺族、80歳代以上、男性、すい臓)

【まとめ】 がん難民といわれる深刻な状況に置かれたと感じている人の状況が明らかになった。その理由としては医療機関の選択肢についての情報が不足している可能性が明らかになったが、こうした環境に置かれる人をなくすための具体策を検討していく必要がある。

その他の結果については、資料編の単純集計表もご参照ください

## 患者が求めるがん対策 vol.2

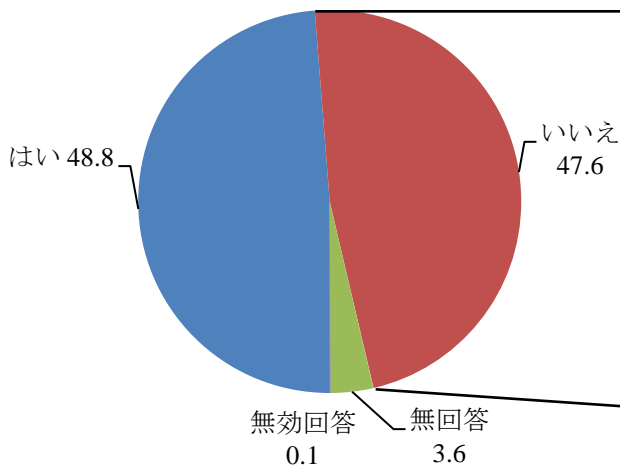
～がん患者意識調査 2010年～

## ⑥がん検診を受けない理由は「必要性を感じなかった」が首位

がんと診断される前に「検診を受けていなかった」と回答した人は全回答者のうちの47.6%であった。検診を受けていなかったと回答した人にその理由を聞いたところ、「必要性を感じなかった」との回答が最も多く、65.4%であった。

図⑥-1

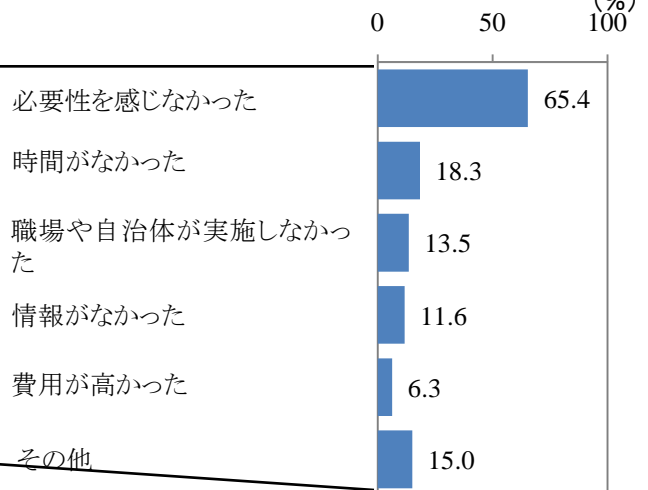
がんと診断される前にがん検診を受けていましたか。(問27)



(単位: %, n=1,446)

図⑥-2

(「いいえ」と答えた方)がん検診を受けていなかった理由は何ですか。(問27-1)※複数回答可



(単位: %, n=688)

自由記述欄に寄せられたコメント(抜粋。表記の統一など、文意の変わらない範囲で変更しました)

- がん検診および治療法の効果についての科学的な調査と、調査結果を公表すること。(遺族、40歳代、男性、甲状腺)
- だれも、自分ががんに罹るなんて思ってだれも思っておられません。がん検診に力を入れて欲しいです。(がん患者・経験者、50歳代、女性、乳房)
- がん患者側からの発信、医療者側からの発信は以前と比べ、多く情報の発信がなされていると思います。要は、一人一人の意識の問題と検診にお金がかかると「元気で暮らしている人」にとって、生活費優先で生きている人が多数だと考えます。(がん患者・経験者、70歳代、女性、甲状腺)

【まとめ】 がん検診を受けない理由として6割以上の方が「必要性を感じなかった」と回答している。がん検診については、がん検診対象者にその必要性が伝わり、受診につながっているかという点を意識しながら対策を検討していく必要がある。

その他の結果については、資料編の単純集計表もご参照ください

## 患者が求めるがん対策 vol.2

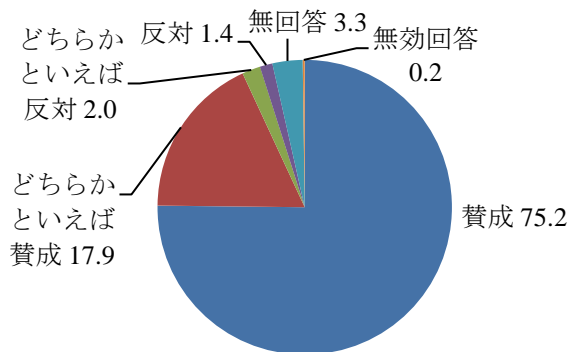
～がん患者意識調査 2010年～

## ⑦がん患者・家族、たばこ対策について高い意識

たばこ対策の強化について、「賛成」「どちらかといえば賛成」と回答した人は93.1%であった。「賛成」と回答した方に、たばこ対策においてさらに強化すべきことを聞いたところ、「たばこの害についての教育の義務化」(68.4%)との回答が最も多く、次いで「職場や飲食店における全面禁煙などの受動喫煙防止策」(67.5%)であった。

たばこの値上げについて「賛成」と回答した人は78.7%、値上げの額については一箱1,000円が妥当との回答が最も多く45.3%の回答であった(単純集計表の22ページを参照のこと)。

図⑦-1

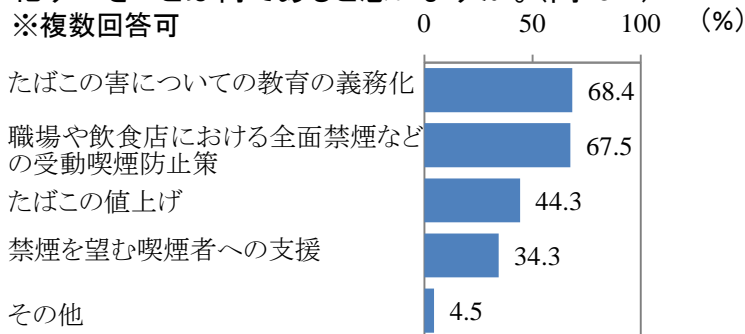
たばこ対策を強化することについてどう  
思いますか。(問28)

(単位: %, n=1,446)

図⑦-2

(たばこ対策の強化に「賛成」と答えた方に)さらに強  
化すべきことは何であると思いますか。(問28-1)

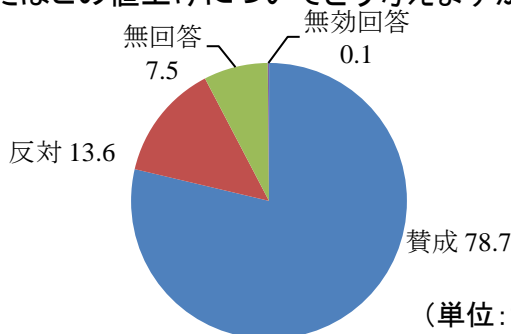
※複数回答可



(単位: %, n=1,087)

図⑦-3

たばこの値上げについてどう考えますか。(問29)



(単位: %, n=1,446)

自由記述欄に寄せられたコメント(抜粋。表記の統一など、文意の変わらない範囲で変更しました)

- ・中、高生時代にたばこの害を強く教える。(がん患者・経験者、70歳代、女性、診断された部位については回答なし)
- ・若年層に対してのたばこの害の教育の充実を望む。(がん患者・経験者、50歳代、男性、甲状腺)
- ・タバコの価格をもっと向上させる。(がん患者・経験者、70歳代、男性、すい臓)

【まとめ】 がん患者・家族のたばこ対策についての高い意識が示された。たばこ対策については、たばこの値上げ以外にも、たばこの害についての教育の義務化や喫煙場所の制限など、さまざまな対策への関心も明らかになっている。今後はこれらの点でもより具体的な策を進めていくことが有意義であることが示された。

その他の結果については、資料編の単純集計表もご参照ください

## 患者が求めるがん対策 vol.2

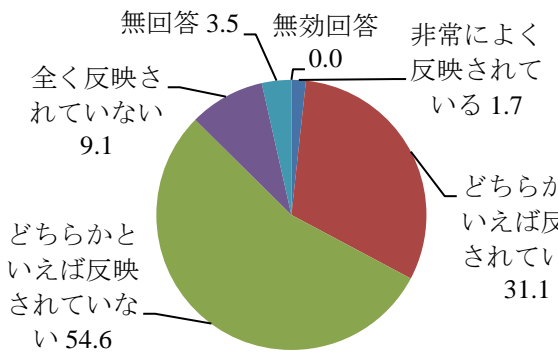
～がん患者意識調査 2010年～

## ⑧がん患者の声「政策に反映されていない」63.7%

現在のがん政策について、がん患者の声が「全く反映されていない」「どちらかといえば反映されていない」と回答した人は合わせて63.7%であった。がん患者の声を実際に反映させるために積極的に行うべきと思うことを聞いたところ、「がん患者のニーズに関する積極的な情報発信」が首位であった(66.8%)

図⑧-1

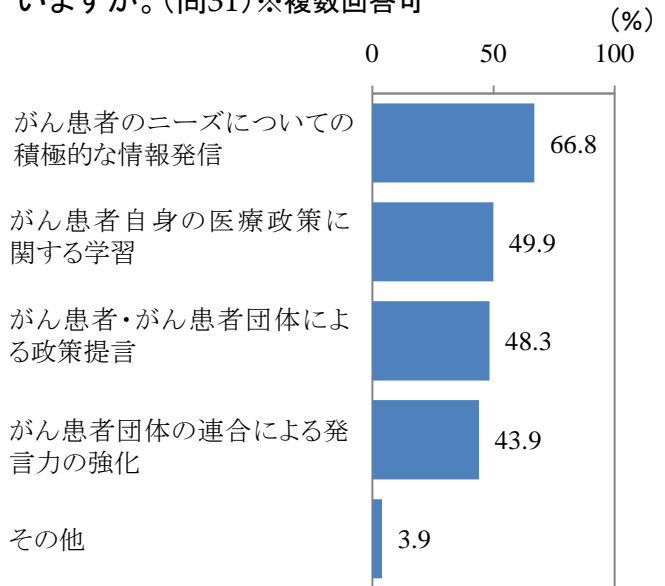
がん患者の声は、現在どの程度がんの医療政策に反映されていると思いますか。(問30)



(単位: %, n=1,446)

図⑧-2

がん患者の声を実際に反映させるために、がん患者がより積極的に行うべきことは何だと思いますか。(問31)※複数回答可



(単位: %, n=1,446)

自由記述欄に寄せられたコメント(抜粋。表記の統一など、文意の変わらない範囲で変更しました)

- がんを体験した人達が、もっと使命感を持って声をあげていくことが大切(がん患者・経験者、40歳代、女性、子宮)
- 今でこそ患者会等の団体に対し、国や病院側がやっと歩みよってくださるようになりつつありますが、経験をした者の声や体験談の話は、ぜったい医療にたずさわる方々にとってプラスになると考えます。患者団体同士のネットワークを広げると共に、医療者や患者会、団体とのネットワークが広がるような場が沢山あると良いと思います。(がん患者・経験者、40歳代、女性、乳房)

【まとめ】 がん患者の声が、がん医療政策に反映されていないと回答した人は6割以上であった。声を反映させるために、がん患者自身のニーズについての情報発信の方法や、発信された情報を医療政策に反映させる仕組み作りについて、具体的な策を実施する必要がある。

その他の結果については、資料編の単純集計表もご参照ください





## 謝辞

今回の調査は、アンケートに回答してくださった方々と、アンケート調査の告知など調査実施にご協力くださった方々のご支援なくして成り立ちませんでした。今回はじめてご協力くださった方も、前回に引き続きご協力くださった方もいらっしゃいました。心から感謝の気持ちと御礼を申し上げます。ありがとうございます。

調査を実施するにあたり、アンケート用紙の作成や集計結果の解釈などについて、下記の皆様からご助言を賜りました。ここに感謝の意を表します。

(五十音順、敬称略)

海辺 陽子

厚生労働省がん対策推進協議会・元委員  
NPO 法人 がんと共に生きる会 副理事長

郷内 淳子

厚生労働省がん対策推進協議会・前委員  
宮城県がん対策推進協議会委員

若尾 文彦

国立がん研究センター がん対策情報センター  
副センター長

また、今回の調査の協力を依頼する際に参考にした全国のがんに関連する患者団体の連絡先については、いいなステーション代表の和田ちひろさんにご協力をいただきました。心より御礼申し上げます。

がん患者意識調査担当  
山口 綾香

## 資料編

- ・ アンケート用紙
- ・ 単純集計表





## がん患者意識調査 2010 年（無記名）

主催／NPO法人 日本医療政策機構 市民医療協議会

### ご記入者・患者さんについて

- このアンケートは患者ニーズ定点観測調査で、今年は 2 回目の実施となります。昨年、同様の調査にご回答いただいた方も、今一度ご協力いただけますようお願い申し上げます。

（１）このアンケートのご記入者について、当てはまるところにひとつ○をつけてください。

1. がん患者・経験者                      2. 家族                      3. 遺族

※上記に該当しない方は、今回のアンケート対象外となりますので、以下のアンケートにお答えいただかなくても結構です（なお、返信も不要です）。アンケート用紙を手にとっていただきありがとうございました。

（２）がんに関連する患者会や家族会に所属していますか。（ひとつ回答）

1. 所属している                      2. 所属していない

- これからの質問は、がん患者さんはご自身について、家族や遺族の方はがん患者ご本人についてお答えください。

（３）現在の年齢（ひとつ回答）

1. 19 歳以下                      2. 20 歳代                      3. 30 歳代                      4. 40 歳代  
5. 50 歳代                      6. 60 歳代                      7. 70 歳代                      8. 80 歳以上

（４）性別（ひとつ回答）

1. 男                      2. 女

（５）お住まいの都道府県名

\_\_\_\_\_（都・道・府・県）

（６）最初にごんと診断された時期、年齢

西暦 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 （\_\_\_\_\_歳の時）

（７）最初にごんと診断された部位（ひとつ回答）

1. 肺                      2. 胃                      3. 肝臓                      4. 大腸  
5. 乳房                      6. すい臓                      7. 食道                      8. 子宮  
9. 卵巣                      10. 血液・リンパ                      11. 前立腺                      12. その他（\_\_\_\_\_）

（８）最初に診断に至ったきっかけ（ひとつ回答）

1. 自覚症状から                      2. セルフチェック                      3. 健康診断（がん検診含む）  
4. 他の病気の治療中                      5. その他（\_\_\_\_\_）

（９）最初にごんと診断された時のステージ（ひとつ回答）

1. ステージ 0                      2. ステージ I                      3. ステージ II                      4. ステージ III  
5. ステージ IV                      6. わからない                      7. 該当なし（ステージのないがん）

(10) 現在のがんの治療状況（ひとつ回答）

1. 治療前                      2. 治療を継続中                      3. 治療が終わり経過観察や定期検査のみ  
4. 緩和を中心としたケア                      5. 無治療、休薬中  
6. 治癒あるいは治癒に近いと思われる状況\*                      7. その他 (                      )

\*治療を開始後5年程度を経て、がんの再発は見られず特にがんに対しての治療はしていない状態

(11) がんの治療後の再発・転移の経験（ひとつ回答）

1. あり                      2. なし

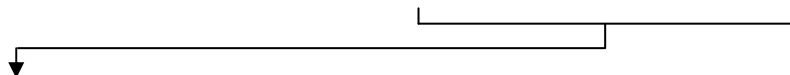
(12) 今までに受けた治療（あてはまるところに✓をつけてください。複数回答可）

- ☐ 1. 外科的療法（内視鏡・胸腔鏡・腹腔鏡手術含む）  
☐ 2. 化学療法（抗がん剤）・ホルモン療法  
☐ 3. 放射線療法  
☐ 4. その他（ ）

**【パート1】 これまでに受けた診断や治療について**

(13) がんと診断されたとき、医療機関の「診断」は満足のいくものでしたか。(ひとつ回答)

1. 満足      2. どちらかといえば満足      3. どちらかといえば不満足      4. 不満足



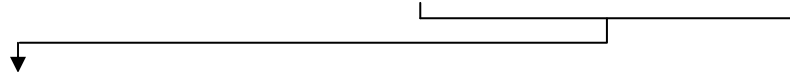
「どちらかといえば不満足」「不満足」と答えた方に質問します。

(13-1) 不満足と感じた理由は何ですか（あてはまるところに✓をつけてください。複数回答可）

- ☐ 1. 医療スタッフの対応に問題がある
- ☐ 2. 診断について相談できる場所・機関が不十分
- ☐ 3. 診断の正確性に疑問がある
- ☐ 4. 治療や医療サービスに関する情報提供が少ない
- ☐ 5. 精神面に対するサポートが不十分
- ☐ 6. 費用が高い
- ☐ 7. その他 ( )

(14) 初期の主たる治療方針について、「治療方針の決定過程」は満足いくものでしたか。(ひとつ回答)

1. 満足      2. どちらかといえば満足      3. どちらかといえば不満足      4. 不満足



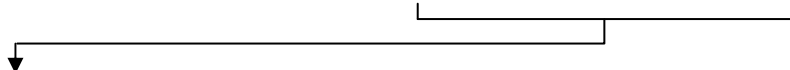
「どちらかといえば不満足」「不満足」と答えた方に質問します。

(14-1) 不満足と感じた理由は何ですか。(あてはまるところに✓をつけてください。複数回答可)

- ☐ 1. 治療方針について相談できる病院内スタッフが不十分
- ☐ 2. 治療方針について相談できる場所・機関が不十分
- ☐ 3. 治療方針の決め方に納得がいかない
- ☐ 4. 精神面に対するサポートが不十分
- ☐ 5. 治療や医療サービスに関する情報が少ない
- ☐ 6. 費用が高い
- ☐ 7. その他 ( )

(15) 現在あるいは直近の治療について、受けた「治療」は満足いくものでしたか。(ひとつ回答)

1. 満足      2. どちらかといえば満足      3. どちらかといえば不満足      4. 不満足



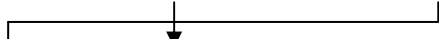
「どちらかといえば不満足」「不満足」と答えた方に質問します。

(15-1) 不満足と感じた理由は何ですか。(あてはまるところに✓をつけてください。複数回答可)

- ☐ 1. 自分が求めていた治療を提供する病院内スタッフが不十分
- ☐ 2. 自分が求めていた治療を提供する医療機関が不十分
- ☐ 3. 治療の質が期待通りではない
- ☐ 4. 医療サービスの質が期待通りでない
- ☐ 5. 精神面に対するサポートが不十分
- ☐ 6. 治療や医療サービスに関する情報が少ない
- ☐ 7. 費用が高い
- ☐ 8. その他 ( )

(16) がんそのものの痛みや治療による“からだの痛み”や不安や落ち込みなどの“こころの痛み”等を和らげる、いわゆる「緩和ケア」を受けたことはありますか。(ひとつ回答)

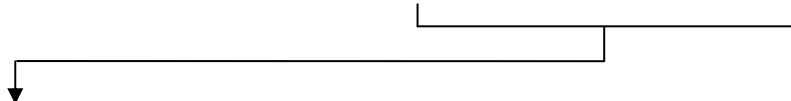
1. ある                      2. ない



「ある」と答えた方に質問します。

(16-1) 緩和ケアは満足いくものでしたか。(ひとつ回答)

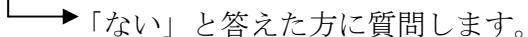
1. 満足      2. どちらかといえば満足      3. どちらかといえば不満足      4. 不満足



「どちらかといえば不満足」「不満足」と答えた方に質問します。

(16-1-1) 不満足と感じた理由は何ですか。(あてはまるところに✓をつけてください。複数回答可)

- ☐ 1. からだの痛みについて、求める緩和ケアを提供する病院内スタッフが不十分
- ☐ 2. からだの痛みについて、求める緩和ケアを提供する場所・機関が不十分
- ☐ 3. からだの痛みについて、サービスの質が期待通りでない
- ☐ 4. こころの痛みについて、求める緩和ケアを提供する病院内スタッフが不十分
- ☐ 5. こころの痛みについて、求める緩和ケアを提供する場所・機関が不十分
- ☐ 6. こころの痛みについて、サービスの質が期待通りでない
- ☐ 7. からだの痛みとこころの痛みに対するケアの両方を受けることができない  
(どちらか一方のみしか受けられない)
- ☐ 8. 緩和ケアに関するサービスに関する情報が少ない
- ☐ 9. 費用が高い
- ☐ 10. その他 ( )



(16-2) 緩和ケアを受けなかった理由はなぜですか。(ひとつ回答)

1. 受ける必要がなかった                      2. 受けられると知らなかった  
3. 受けたくても受けられなかった



(「受けたくても受けられなかった」と答えた方は次ページ(16-2-1)の質問へ)

(16-2) で「受けたくても受けられなかった」と答えた方に質問します。

(16-2-1) 理由は何ですか。(あてはまるところに✓をつけてください。複数回答可)

- ☐ 1. 受けたいと言い出せなかった
- ☐ 2. 主治医や看護師に希望を伝えたが受け入れてもらえなかった
- ☐ 3. からだの痛みについて、求める緩和ケアを提供する病院内スタッフがいない
- ☐ 4. からだの痛みについて、求める緩和ケアを提供する場所・機関がない
- ☐ 5. こころの痛みについて、求める緩和ケアを提供する病院内スタッフがいない
- ☐ 6. こころの痛みについて、求める緩和ケアを提供する場所・機関がない
- ☐ 7. 緩和ケアに関するサービスについての情報がなかった
- ☐ 8. 費用が高い
- ☐ 9. その他 ( )

(17) がんの治療やケアを通して、医療機関を移ったことがありますか。(ひとつ回答)

1. ある                      2. ない



「ある」と答えた方に質問します。

(17-1) 具体的にはどこからどこに移動(転院)しましたか。(ひとつ回答。複数ある場合は、がんの治療やケアにとって一番大切だったと思うものを選択)

1. 病院\*から病院                      2. 病院から診療所\*\*                      3. 診療所から診療所  
4. 病院から在宅療養(往診)                      5. 診療所から在宅療養(往診)

\*病院 : 医療機関のうち、ベッド数 20 床以上で、入院と外来の両方の機能をもつもの

\*\*診療所 : 医療機関のうち、ベッド数 20 床未満で、主に外来の機能をもつもの

(17-1) で選択した転院について質問します。

(17-1-1) 病院を移ったきっかけは何ですか(ひとつ回答)

1. 医師(医療提供者)に治療前に言われた                      2. 医師(医療提供者)に治療後に言われた  
3. 自分で決めた                      4. その他 ( )

(17-1-2) 転院は満足 of いくものでしたか。(ひとつ回答)

1. 満足    2. どちらかといえば満足    3. どちらかといえば不満足    4. 不満足



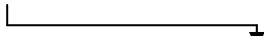
「どちらかといえば不満足」「不満足」と答えた方に質問します。

(17-1-3) 不満足と感じた理由は何ですか。(あてはまるところに✓をつけてください。複数回答可)

- ☐ 1. 転院できる医療機関が見つからない
- ☐ 2. 転院をサポートする病院内スタッフが不十分
- ☐ 3. 転院をサポートする場所・機関が不十分
- ☐ 4. 転院に関する医療サービスの質が期待通りではない
- ☐ 5. 精神面に対するサポートが不十分
- ☐ 6. 転院に関する治療や医療サービスの情報が少ない
- ☐ 7. 費用が高い
- ☐ 8. その他 ( )

(18) はじめの主な治療が終了した後におきた副作用、後遺症、障がいへの対応や心の悩みへのサポート等、いわゆる「治療後のフォローアップ」を受けたことはありますか。(ひとつ回答)

1. ある                      2. ない

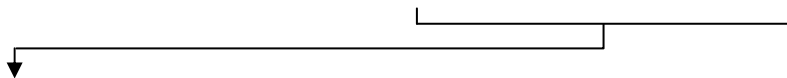


(「ある」と答えた方は次ページ(18-1)、「ない」と答えた方は次ページ(18-2)の質問へ)

(18) で「ある」と答えた方に質問します。

(18-1) 治療後のフォローアップは満足のものでしたか。(ひとつ回答)

1. 満足 2. どちらかといえば満足 3. どちらかといえば不満足 4. 不満足



「どちらかといえば不満足」「不満足」と答えた方に質問します。

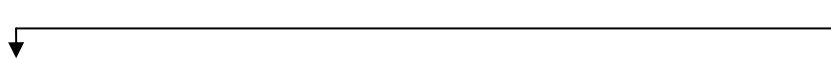
(18-1-1) 不満足と感じた理由は何ですか。(あてはまるところに✓をつけてください。複数回答可)

- ☐ 1. 求めるフォローアップを提供するスタッフが不十分
- ☐ 2. 求めるフォローアップを提供する場所・機関が不十分
- ☐ 3. フォローアップに関する治療や医療サービスの質が期待通りでない
- ☐ 4. 精神面に対するサポートが不十分
- ☐ 5. フォローアップに関する治療や医療サービスの情報が少ない
- ☐ 6. 費用が高い
- ☐ 7. その他 ( )

(18) で「ない」と答えた方に質問します。

(18-2) 治療後のフォローアップを受けなかった理由はなぜですか。(ひとつ回答)

1. 受ける必要がなかった 2. 受けられると知らなかった 3. 受けたくても受けられなかった



「受けたくても受けられなかった」と答えた方に質問します。

(18-2-1) 理由は何ですか。(あてはまるところに✓をつけてください。複数回答可)

- ☐ 1. 受けたいと言い出せなかった
- ☐ 2. 主治医や看護師に希望を伝えたが受け入れてもらえないかった
- ☐ 3. 求めるフォローアップを提供するスタッフがいらない
- ☐ 4. 求めるフォローアップを提供する場所・機関がない
- ☐ 5. フォローアップに関する治療や医療サービスの情報がなかった
- ☐ 6. 費用が高い
- ☐ 7. その他 ( )

(19) がんの診断や治療を通して、どのようなことについて悩みましたか。(あてはまるところに✓をつけてください。複数回答可)

- ☐ 1. 痛み、副作用、後遺症などの身体的苦痛
- ☐ 2. 落ち込みや不安、恐怖などの精神的なこと
- ☐ 3. 夫婦間、子どもとの関係などの家庭・家族のこと
- ☐ 4. 仕事、地位、人間関係などの社会とのかかわり
- ☐ 5. 医師や看護師等とのかかわり
- ☐ 6. 収入、治療費、将来への蓄えなどの経済的なこと
- ☐ 7. これからの生き方、生きる意味などに関すること
- ☐ 8. その他 ( )

(20) がんの診断や治療を通して、どのようなサポートがあれば良かったと思いますか。(あてはまるところに✓をつけてください。複数回答可)

- ☐ 1. 医療従事者によるがん医療やサービスについての情報提供サポート
- ☐ 2. ピア（仲間）による医療やサービスについての情報提供サポート
- ☐ 3. カウンセラーや精神腫瘍医など心の専門家による精神面のサポート
- ☐ 4. ピア（仲間）による精神面のサポート
- ☐ 5. ソーシャルワーカーなどによる社会面に関するサポート
- ☐ 6. ピア（仲間）による社会面に関するサポート
- ☐ 7. その他 ( )





## 【パート3】がんの予防について

(27) がんと診断される前にがん検診を受けていましたか。(ひとつ回答)

1. はい                      2. いいえ

「いいえ」と答えた方に質問します。

(27-1) がん検診を受けていなかった理由は何ですか。(あてはまるところに✓をつけてください。複数回答可)

- ☐ 1. 必要性を感じなかった  
☐ 2. 職場や自治体が実施しなかった  
☐ 3. 情報がなかった  
☐ 4. 時間がなかった  
☐ 5. 費用が高かった  
☐ 6. その他（ ）

(28) たばこによる健康被害の抑制（たばこ対策）を強化することについてどう思いますか。

(ひとつ回答)

1. 賛成      2. どちらかといえば賛成      3. どちらかといえば反対      4. 反対

「賛成」と答えた方に質問します。

(28-1) さらに強化すべきことは何であると思いますか。(あてはまるところに✓をつけてください。複数回答可)

- ☐ 1. たばこの値上げ
- ☐ 2. たばこの害についての教育の義務化
- ☐ 3. 職場や飲食店における全面禁煙などの受動喫煙防止策
- ☐ 4. 禁煙を望む喫煙者への支援
- ☐ 5. その他（ ）

(29) たばこの値上げについてどう考えますか。(ひとつ回答)

1. 贊成      2. 反對

「賛成」と答えた方に質問します。

(29-1) 現在約 400 円のたばこをいくらに値上げするのが妥当であると思いますか。  
(ひとつ回答)

1. 500 円      2. 600 円      3. 700 円      4. 800 円      5. 900 円  
6. 1000 円      7. 1100 円      8. 1200 円      9. 1300 円      10. 1400 円  
11. 1500 円      12. 1600 円以上

## 【パート4】がん医療政策について

(30) がん患者の声は、現在どの程度がんの医療政策に反映されていると思いますか。(ひとつ回答)

1. 非常によく反映されている      2. どちらかといえば反映されている  
3. どちらかといえば反映されていない      4. 全く反映されていない

- (31) がん患者の声を実際に反映させるために、がん患者がより積極的に行うべきことは何だと思いますか。あてはまるところに✓をつけてください。また、実際にあなたがそれをどの程度行っているかについて、それぞれあてはまるところに○をつけてください。

〔行うべきだと思うこと〕（複数回答可）

- ☐ 1. がん患者のニーズについての積極的な情報発信  
☐ 2. がん患者自身の医療政策に関する学習  
☐ 3. がん患者・がん患者団体による政策提言  
☐ 4. がん患者団体の連合による発言力の強化  
☐ 5. その他（ ）

〔どの程度行っているか〕（それぞれについてひとつ回答）

	積極的に 行っている	行っている	これから行う	行っていない
がん患者のニーズについての積極的な情報発信	1	2	3	4
がん患者自身の医療政策に関する学習	1	2	3	4
がん患者・がん患者団体による政策提言	1	2	3	4
がん患者団体の連合による発言力の強化	1	2	3	4

- (32) 日本の医療費総額のあるべき姿についてうかがいます。「もっと医療費を増やすべきだ」という意見について、あなたはどのように思いますか。（ひとつ回答）

1. 賛成                      2. どちらかという賛成                      3. どちらかという反対                      4. 反対

- (33) 医療費を増やすことになった際の財源について、どれを主とすることがいいと思いますか。（ひとつ回答）

1. 医療を受けた場合の患者窓口負担を増やす                      2. 税金を増やして医療費に回す  
3. 健康保険料を値上げする

- (34) (33) のいずれにしても、最終的には何らかの形で国民が負担することになります。あなたは、国民がより質の高いがん医療を受けられる場合、どの程度の現状以上の費用負担までなら妥当だと思いますか。（ひとつ回答）

1. 月 5 千円                      2. 月 1 万円                      3. 月 3 万円  
4. 月 5 万円                      5. 月 10 万円                      6. 月 15 万円以上

- (35) 日本のがん医療を改善するために必要性が高いと思うことを自由にご記入してください。

- 昨年（前回）、本アンケート調査と同様の調査にご回答いただいたことがある方は、右の□に✓をつけてください。

これでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

お寄せいただいた貴重なご意見をまとめ、皆さまの抱える真の課題を広く社会と共有することにより、課題解決のための原動力となるよう役立たせていただきます。

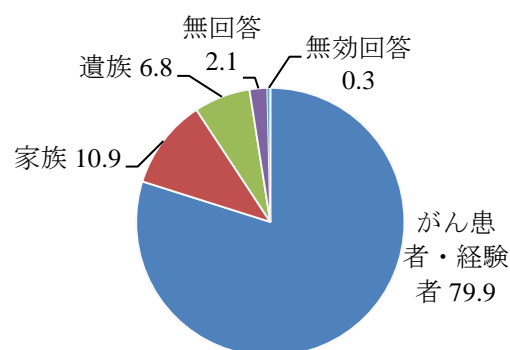
日本医療政策機構 市民医療協議会 がん政策情報センターでは、がん対策についての情報を定期的に無料のメールマガジンで配信しております。配信をご希望の方は、当機構ホームページよりお申込みください。

今後とも当機構の活動へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 単純集計表

### (1) アンケートの記入者

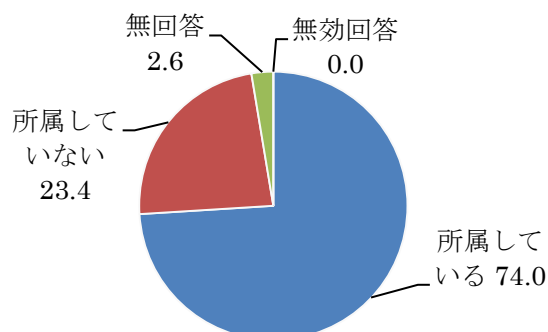
	回答人数 (人)	割合 (%)
がん患者・経験者	1,155	79.9
家族	157	10.9
遺族	98	6.8
無回答	31	2.1
無効回答	5	0.3
計	1,446	100.0



単位(%), n=1,446

### (2) がんに関連する患者会や家族会への所属

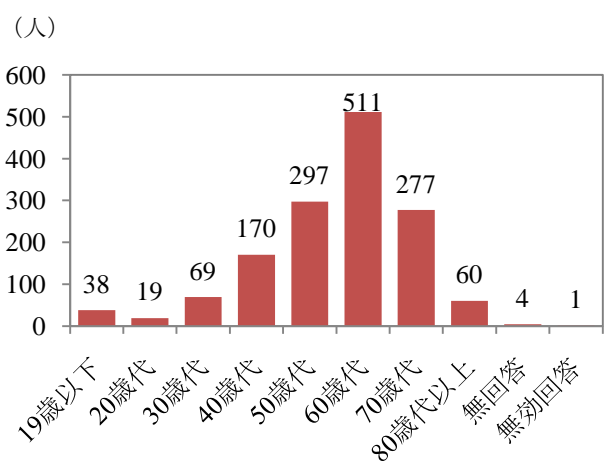
	回答人数 (人)	割合 (%)
所属している	1,070	74.0
所属していない	338	23.4
無回答	38	2.6
無効回答	0	0.0
計	1,446	100.0



単位(%), n=1,446

### (3) 現在の年齢

	回答人数 (人)	割合 (%)
19歳以下	38	2.6
20歳代	19	1.3
30歳代	69	4.8
40歳代	170	11.8
50歳代	297	20.5
60歳代	511	35.3
70歳代	277	19.2
80歳以上	60	4.1
無回答	4	0.3
無効回答	1	0.1
計	1,446	100.0

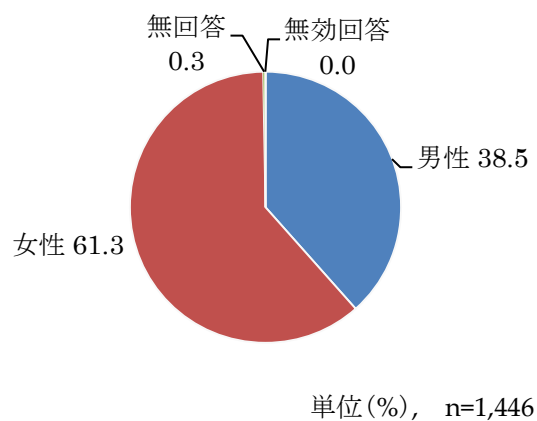


n=1,446

注 四捨五入のため、割合 (%) の合計値が合わない場合がございます

#### (4) 性別

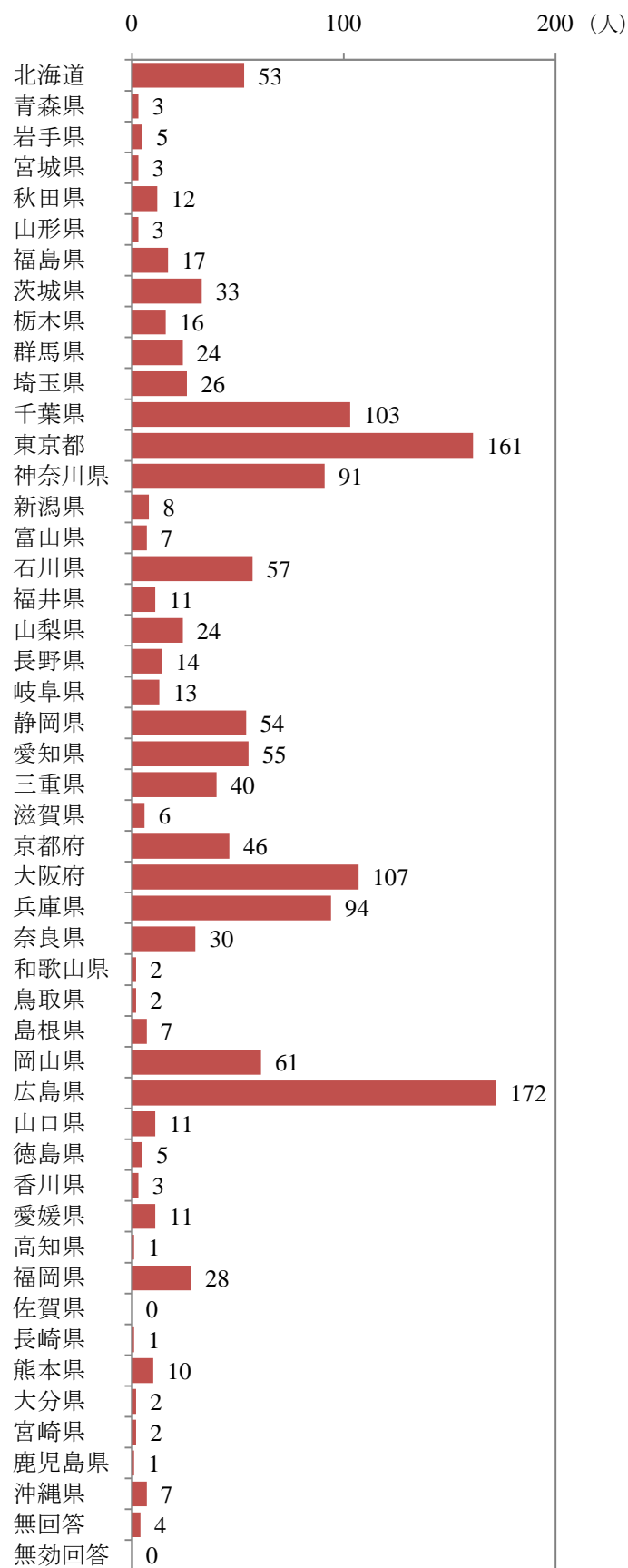
	回答人数 (人)	割合 (%)
男性	556	38.5
女性	886	61.3
無回答	4	0.3
無効回答	0	0.0
計	1,446	100.0



注) 四捨五入のため、割合 (%) の合計値が合わない場合がございます

# (5) お住まいの都道府県

	回答人数 (人)	割合 (%)
北海道	53	3.7
青森県	3	0.2
岩手県	5	0.3
宮城県	3	0.2
秋田県	12	0.8
山形県	3	0.2
福島県	17	1.2
茨城県	33	2.3
栃木県	16	1.1
群馬県	24	1.7
埼玉県	26	1.8
千葉県	103	7.1
東京都	161	11.1
神奈川県	91	6.3
新潟県	8	0.6
富山県	7	0.5
石川県	57	3.9
福井県	11	0.8
山梨県	24	1.7
長野県	14	1.0
岐阜県	13	0.9
静岡県	54	3.7
愛知県	55	3.8
三重県	40	2.8
滋賀県	6	0.4
京都府	46	3.2
大阪府	107	7.4
兵庫県	94	6.5
奈良県	30	2.1
和歌山県	2	0.1
鳥取県	2	0.1
島根県	7	0.5
岡山県	61	4.2
広島県	172	11.9
山口県	11	0.8
徳島県	5	0.3
香川県	3	0.2
愛媛県	11	0.8
高知県	1	0.1
福岡県	28	1.9
佐賀県	0	0.0
長崎県	1	0.1
熊本県	10	0.7
大分県	2	0.1
宮崎県	2	0.1
鹿児島県	1	0.1
沖縄県	7	0.5
無回答	4	0.3
無効回答	0	0.0
計	1,446	100.0

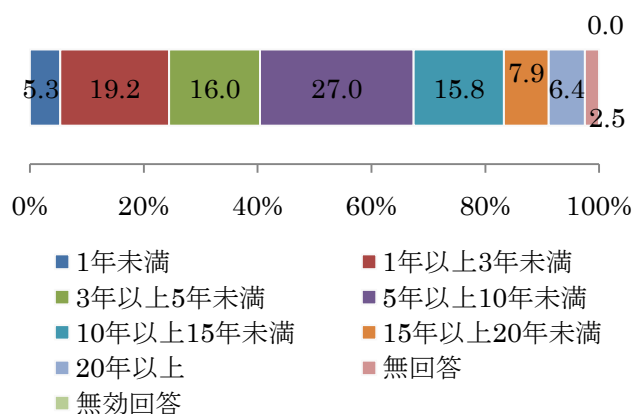


n=1,446

注) 四捨五入のため、割合 (%) の合計値が100.0にならない場合がございます

## (6) 最初にがんと診断されてからの経過年数

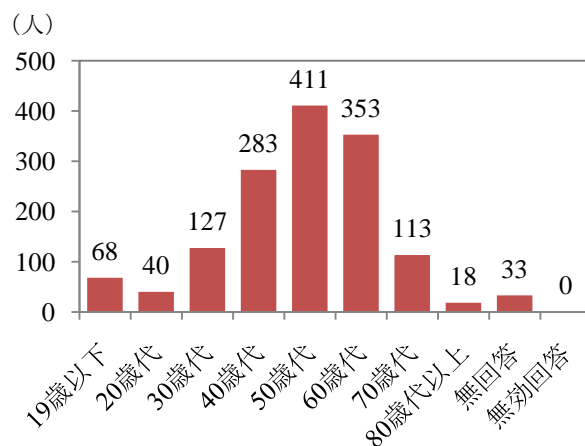
	回答人数 (人)	割合 (%)
1 年未満	77	5.3
1 年以上 3 年未満	277	19.2
3 年以上 5 年未満	231	16.0
5 年以上 10 年未満	390	27.0
10 年以上 15 年未満	229	15.8
15 年以上 20 年未満	114	7.9
20 年以上	92	6.4
無回答	36	2.5
無効回答	0	0.0
計	1,446	100.0



n=1,446

## (6) 最初にがんと診断された時の年代

	回答人数 (人)	割合 (%)
19 歳以下	68	4.7
20 歳代	40	2.8
30 歳代	127	8.8
40 歳代	283	19.6
50 歳代	411	28.4
60 歳代	353	24.4
70 歳代	113	7.8
80 歳代以上	18	1.2
無回答	33	2.3
無効回答	0	0.0
計	1,446	100.0

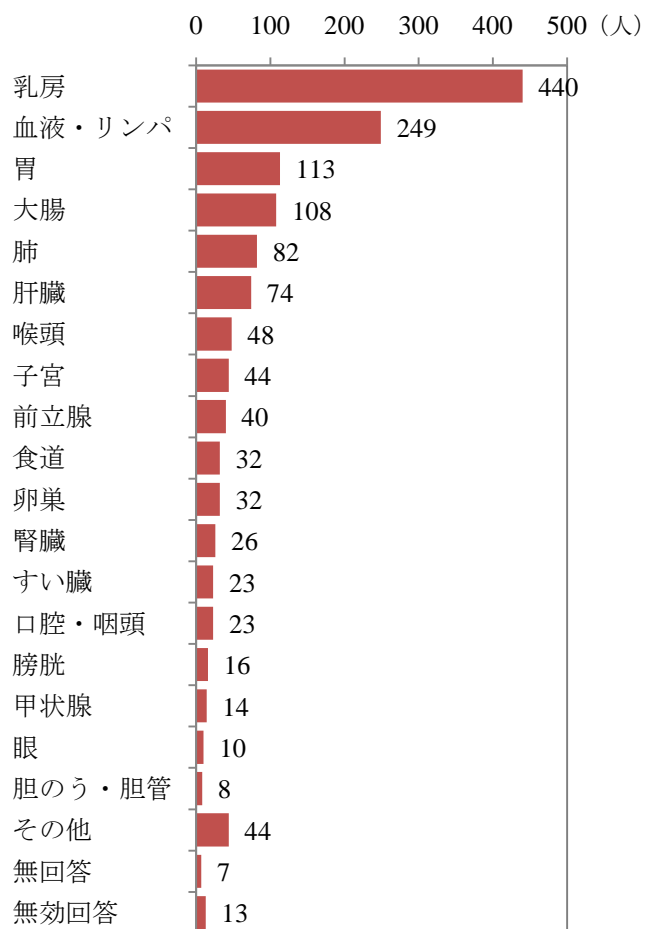


n=1,446

注) 四捨五入のため、割合 (%) の合計値が 100.0 にならない場合がございます

## (7) 最初にがんと診断された部位

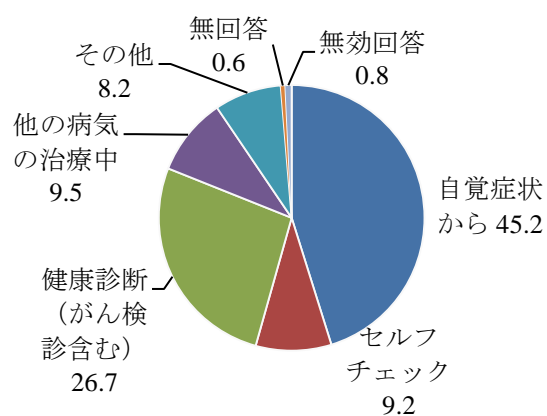
	回答人数 (人)	割合 (%)
乳房	440	30.4
血液・リンパ	249	17.2
胃	113	7.8
大腸	108	7.5
肺	82	5.7
肝臓	74	5.1
喉頭	48	3.3
子宮	44	3.0
前立腺	40	2.8
食道	32	2.2
卵巣	32	2.2
腎臓	26	1.8
すい臓	23	1.6
口腔・咽頭	23	1.6
膀胱	16	1.1
甲状腺	14	1.0
眼	10	0.7
胆のう・胆管	8	0.6
その他	44	3.0
無回答	7	0.5
無効回答	13	0.9
計	1,446	100.0



n=1,446

## (8) 最初に診断に至ったきっかけ

	回答人数 (人)	割合 (%)
自覚症状から	653	45.2
セルフチェック	133	9.2
健康診断（がん検診含む）	386	26.7
他の病気の治療中	137	9.5
その他	118	8.2
無回答	8	0.6
無効回答	11	0.8
計	1,446	100.0



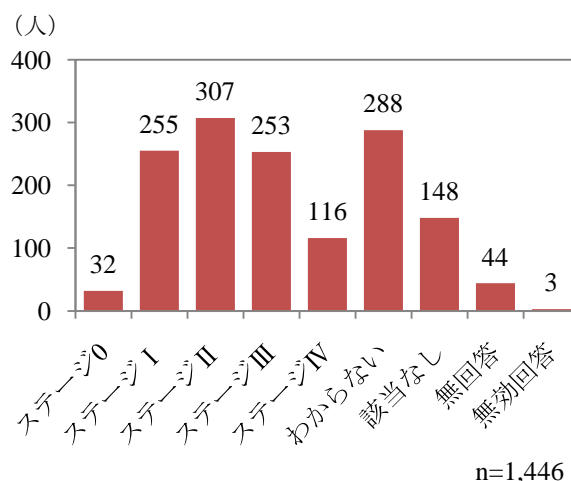
単位(%), n=1,446

注 四捨五入のため、割合 (%) の合計値が100.0にならない場合がございます



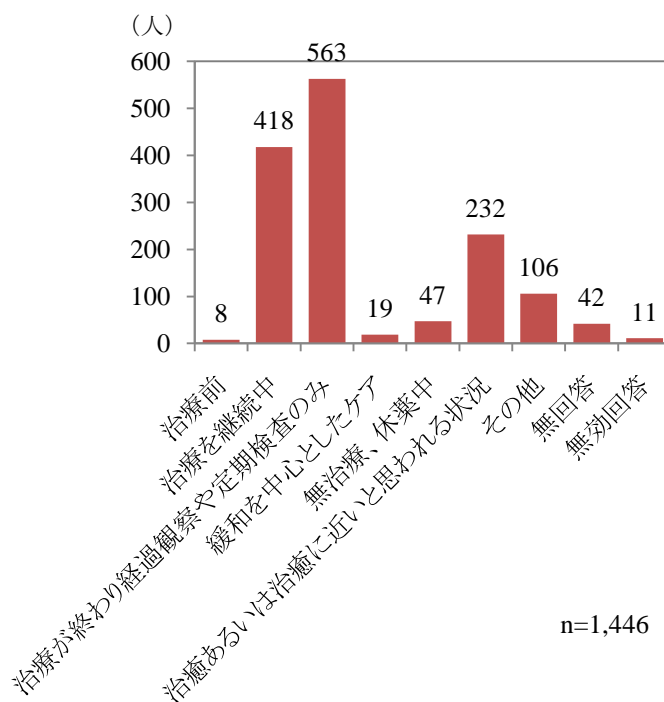
### (9) 最初にがんと診断された時のステージ

	回答人数 (人)	割合 (%)
ステージ0	32	2.2
ステージⅠ	255	17.6
ステージⅡ	307	21.2
ステージⅢ	253	17.5
ステージⅣ	116	8.0
わからない	288	19.9
該当なし	148	10.2
無回答	44	3.0
無効回答	3	0.2
計	1,446	100.0



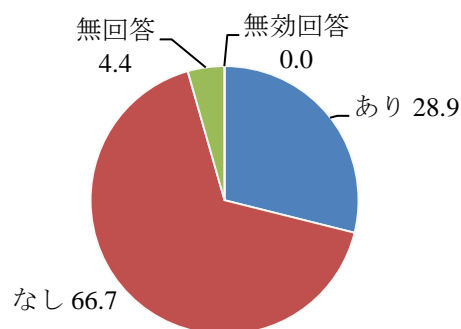
### (10) 現在のがんの治療状況

	回答人数 (人)	割合 (%)
治療前	8	0.6
治療を継続中	418	28.9
治療が終わり経過観察 や定期検査のみ	563	38.9
緩和を中心としたケア	19	1.3
無治療、休薬中	47	3.3
治癒あるいは治癒に近い と思われる状況	232	16.0
その他	106	7.3
無回答	42	2.9
無効回答	11	0.8
計	1,446	100.0



### (11) がんの治療後の再発・転移の経験

	回答人数 (人)	割合 (%)
あり	418	28.9
なし	964	66.7
無回答	64	4.4
無効回答	0	0.0
計	1,446	100.0



単位(%), n=1,446

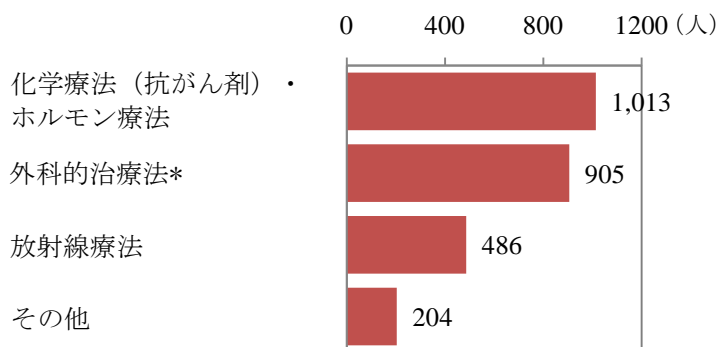
注 四捨五入のため、割合 (%) の合計値があわない場合がございます

(12) 今までに受けた治療(複数回答可)

	回答人数 (人)	割合 (%)
化学療法(抗がん剤)・ホルモン療法	1,013	70.1
外科的治療法*	905	62.6
放射線療法	486	33.6
その他	204	14.1
ひとつも回答なし	38	2.6

一人当たり平均回答個数 1.8

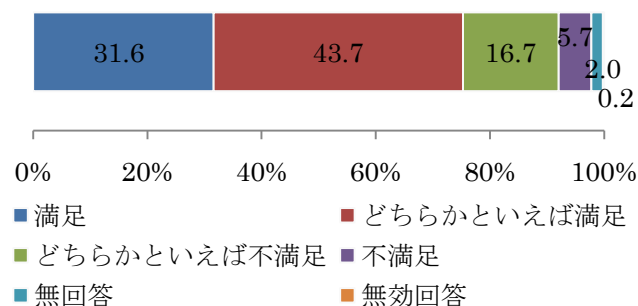
\*内視鏡・胸腔鏡・腹腔鏡手術含む



n=1,446

(13) がんと診断されたとき、医療機関の診断は満足 of いくものでしたか。

	回答人数 (人)	割合 (%)
満足	457	31.6
どちらかといえば満足	632	43.7
どちらかといえば不満足	242	16.7
不満足	83	5.7
無回答	29	2.0
無効回答	3	0.2
計	1,446	100.0

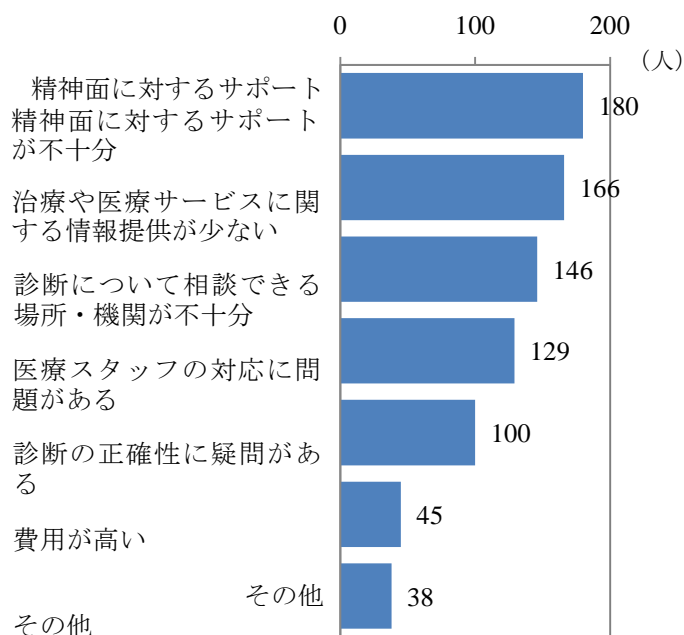


n=1,446

(13-1) 「どちらかといえば不満足」「不満足」と答えた方に質問します。不満足と感じた理由は何ですか。(複数回答可)

	回答人数 (人)	割合 (%)
精神面に対するサポートが不十分	180	55.4
治療や医療サービスに関する情報提供が少ない	166	51.1
診断について相談できる場所・機関が不十分	146	44.9
医療スタッフの対応に問題がある	129	39.7
診断の正確性に疑問がある	100	30.8
費用が高い	45	13.8
その他	38	11.7
ひとつも回答なし	2	0.6

一人当たり平均回答個数 2.5

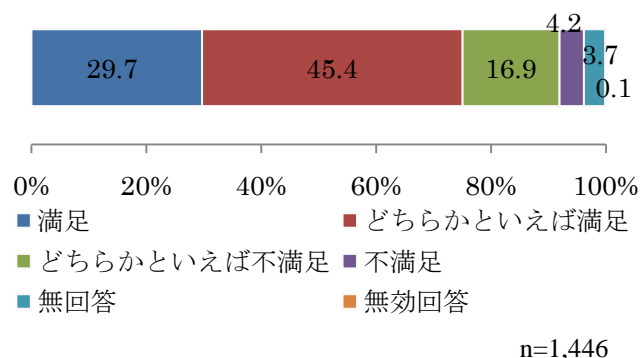


n=325

注 四捨五入のため、割合 (%) の合計値があわない場合がございます

(14) 初期の主たる治療方針について、治療方針の決定過程は満足いくものでしたか。

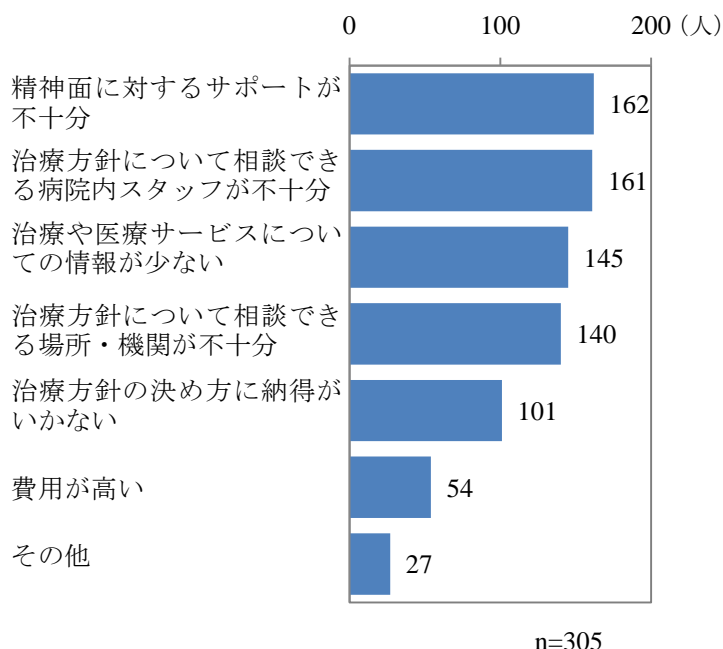
	回答人数 (人)	割合 (%)
満足	429	29.7
どちらかといえば満足	656	45.4
どちらかといえば不満足	244	16.9
不満足	61	4.2
無回答	54	3.7
無効回答	2	0.1
計	1,446	100.0



(14-1) 「どちらかといえば不満足」「不満足」と答えた方に質問します。不満足と感じた理由は何ですか。(複数回答可)

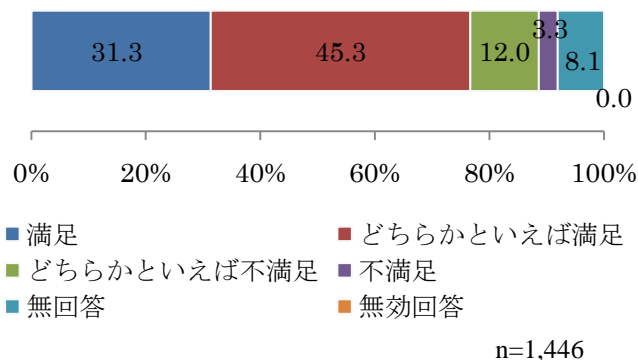
	回答人数 (人)	割合 (%)
精神面に対するサポートが不十分	162	53.1
治療方針について相談できる病院内スタッフが不十分	161	52.8
治療や医療サービスについての情報が少ない	145	47.5
治療方針について相談できる場所・機関が不十分	140	45.9
治療方針の決め方に納得がいかない	101	33.1
費用が高い	54	17.7
その他	27	8.9
ひとつも回答なし	1	0.3

一人当たり平均回答個数 2.6



(15) 現在あるいは直近の治療について、受けた治療は満足いくものでしたか。

	回答人数 (人)	割合 (%)
満足	453	31.3
どちらかといえば満足	655	45.3
どちらかといえば不満足	173	12.0
不満足	48	3.3
無回答	117	8.1
無効回答	0	0.0
計	1,446	100.0

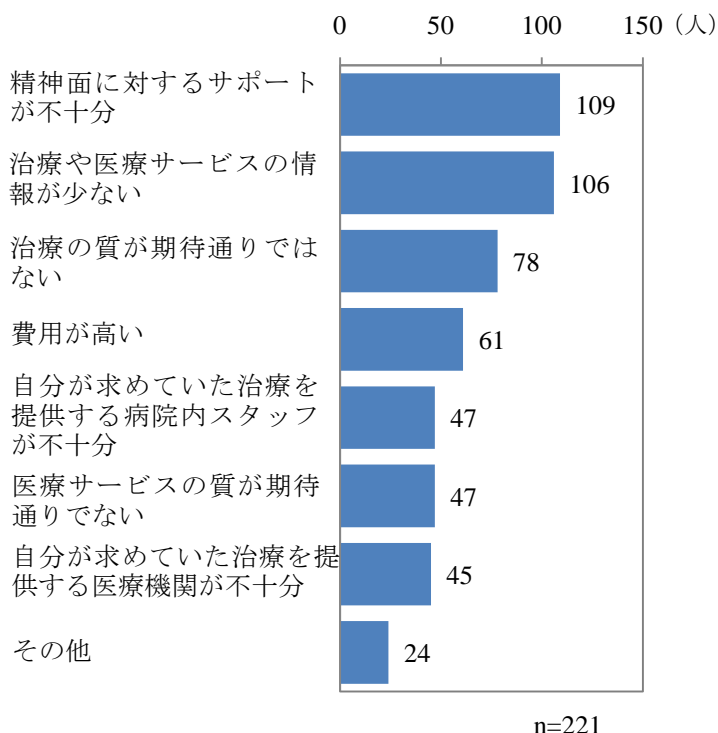


注) 四捨五入のため、割合 (%) の合計値が合わない場合がございます

(15-1) 「どちらかといえば不満足」「不満足」と答えた方に質問します。不満足と感じた理由は何ですか。(複数回答可)

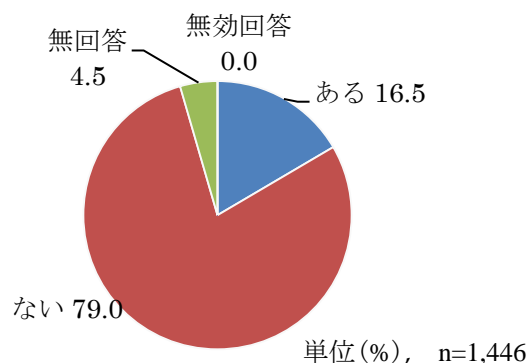
	回答人数 (人)	割合 (%)
精神面に対するサポートが不十分	109	49.3
治療や医療サービスの情報が少ない	106	48.0
治療の質が期待通りではない	78	35.3
費用が高い	61	27.6
自分が求めている治療を提供する病院内スタッフが不十分	47	21.3
医療サービスの質が期待通りでない	47	21.3
自分が求めている治療を提供する医療機関が不十分	45	20.4
その他	24	10.9
ひとつも回答なし	3	1.4

一人当たり平均回答個数 2.3



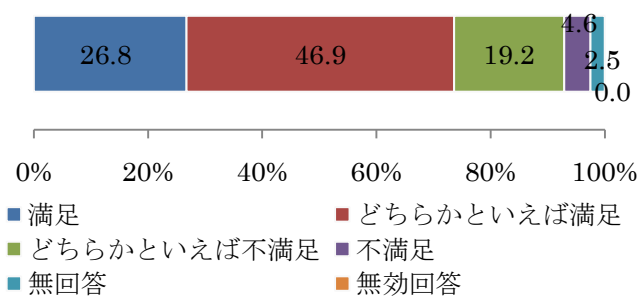
(16) がんそのものの痛みや治療による“からだの痛み”や不安や落ち込みなどの“こころの痛み”等を和らげる、いわゆる「緩和ケア」を受けたことはありますか。

	回答人数 (人)	割合 (%)
ある	239	16.5
ない	1,142	79.0
無回答	65	4.5
無効回答	0	0.0
計	1,446	100.0



(16-1) 「ある」と答えた方に質問します。緩和ケアは満足のいくものでしたか。

	回答人数 (人)	割合 (%)
満足	64	26.8
どちらかといえば満足	112	46.9
どちらかといえば不満足	46	19.2
不満足	11	4.6
無回答	6	2.5
無効回答	0	0.0
計	239	100.0



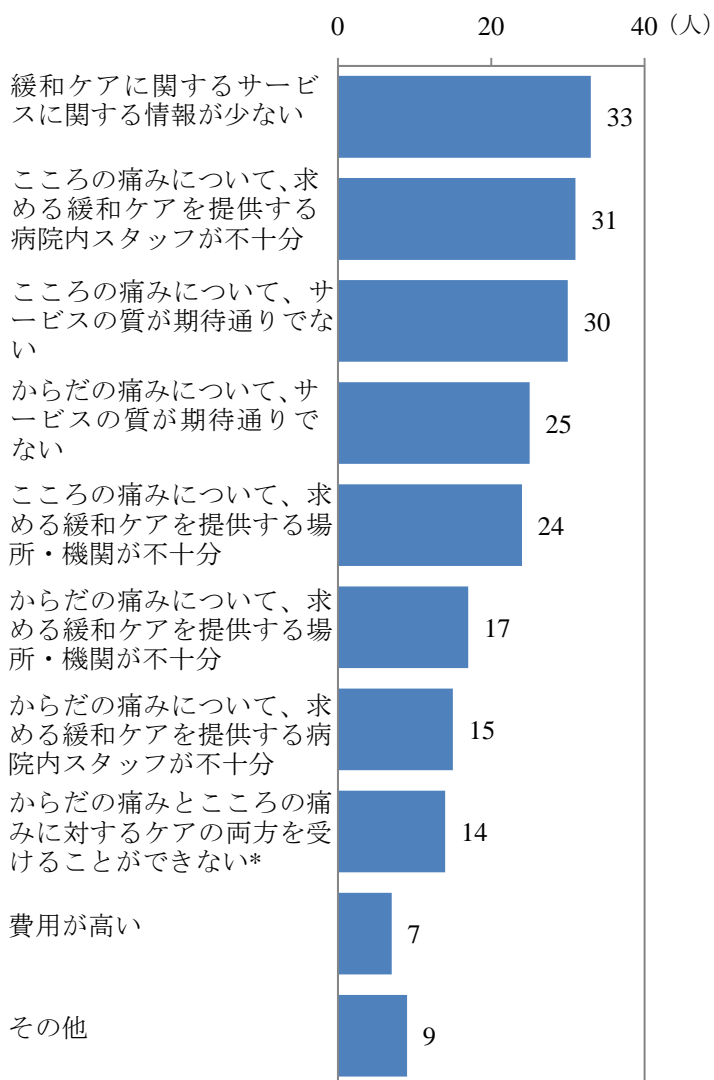
n=239

注 四捨五入のため、割合 (%) の合計値が100%にならない場合がございます

(16-1-1)「どちらかといえば不満足」「不満足」と答えた方に質問します。不満足と感じた理由は何ですか。(複数回答可)

	回答人数 (人)	割合 (%)
緩和ケアに関するサービスに関する情報が少ない	33	57.9
こころの痛みについて、求める緩和ケアを提供する病院内スタッフが不十分	31	54.4
こころの痛みについて、サービスの質が期待通りでない	30	52.6
からだの痛みについて、サービスの質が期待通りでない	25	43.9
こころの痛みについて、求める緩和ケアを提供する場所・機関が不十分	24	42.1
からだの痛みについて、求める緩和ケアを提供する場所・機関が不十分	17	29.8
からだの痛みについて、求める緩和ケアを提供する病院内スタッフが不十分	15	26.3
からだの痛みとこころの痛みに対するケアの両方を受けることができない*	14	24.6
費用が高い	7	12.3
その他	9	15.8
ひとつも回答なし	0	0.0

一人当たり平均回答個数 3.6

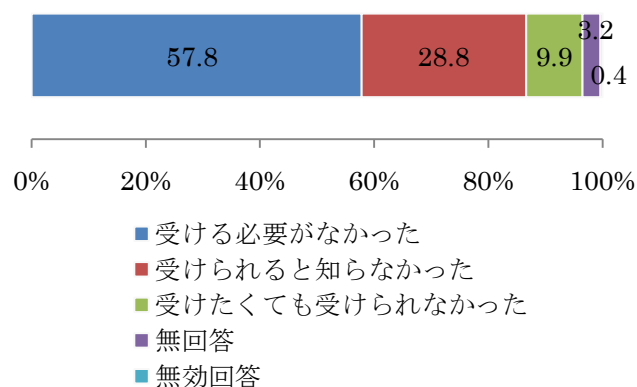


n=57

\*どちらか一方のみしか受けられない

(16-2)「ない」と答えた方に質問します。緩和ケアを受けなかった理由はなぜですか。

	回答人数 (人)	割合 (%)
受ける必要がなかった	660	57.8
受けられると知らなかった	329	28.8
受けたくても受けられなかった	113	9.9
無回答	36	3.2
無効回答	4	0.4
計	1,142	100.0



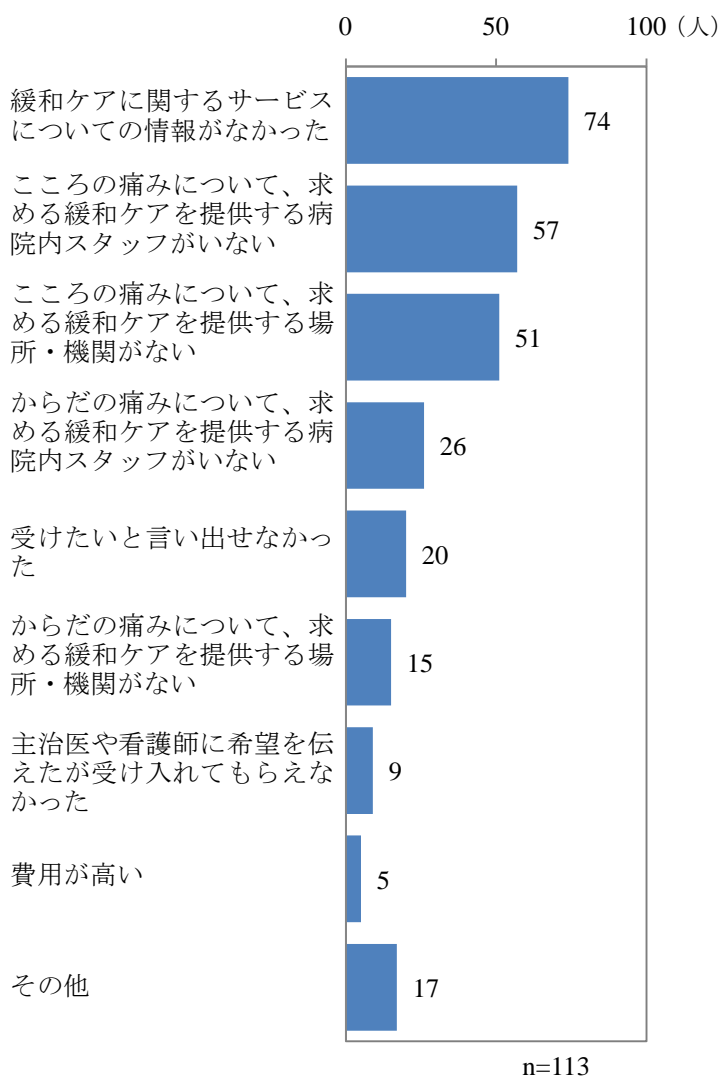
n=1,142

注 四捨五入のため、割合 (%) の合計値が100%にならない場合がございます

(16-2-1)「受けたくても受けられなかった」理由は何ですか。

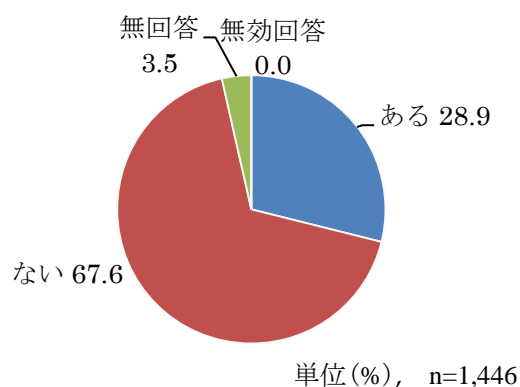
	回答人数 (人)	割合 (%)
緩和ケアに関するサービスについての情報がなかった	74	65.5
こころの痛みについて、求める緩和ケアを提供する病院内スタッフがいない	57	50.4
こころの痛みについて、求める緩和ケアを提供する場所・機関がない	51	45.1
からだの痛みについて、求める緩和ケアを提供する病院内スタッフがいない	26	23.0
受けたいと言い出せなかった	20	17.7
からだの痛みについて、求める緩和ケアを提供する場所・機関がない	15	13.3
主治医や看護師に希望を伝えたが受け入れてもらえなかった	9	8.0
費用が高い	5	4.4
その他	17	15.0
ひとつも回答なし	1	0.9

一人当たり平均回答個数 2.4



(17) がんの治療やケアを通して、医療機関を移ったことがありますか。

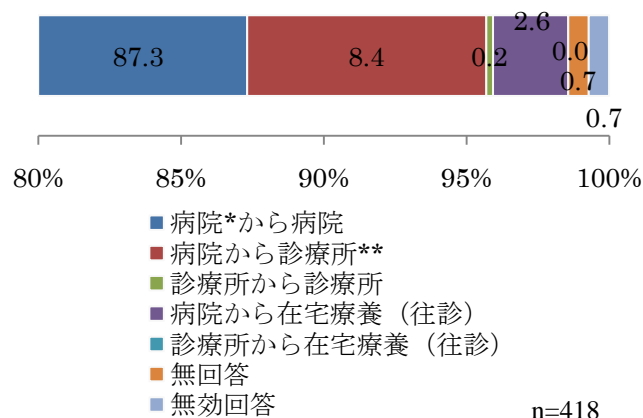
	回答人数 (人)	割合 (%)
ある	418	28.9
ない	977	67.6
無回答	51	3.5
無効回答	0	0.0
計	1,446	100.0



注 四捨五入のため、割合 (%) の合計値があわない場合がございます

(17-1) 具体的にはどこからどこに移動(転院)しましたか。(複数ある場合は、がんの治療やケアにとって一番大切だったと思うものを選択)

	回答人数 (人)	割合 (%)
病院*から病院	365	87.3
病院から診療所**	35	8.4
診療所から診療所	1	0.2
病院から在宅療養(往診)	11	2.6
診療所から在宅療養(往診)	0	0.0
無回答	3	0.7
無効回答	3	0.7
計	418	100.0

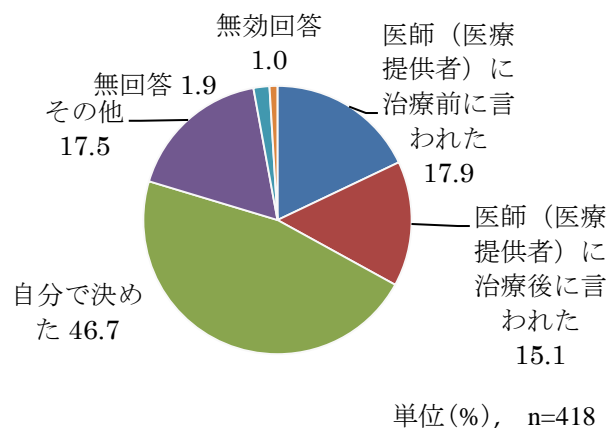


\*病院：医療機関のうち、ベッド数20床以上で、入院と外来の両方の機能をもつもの

\*\*診療所：医療機関のうち、ベッド数20床未満で、主に外来の機能をもつもの

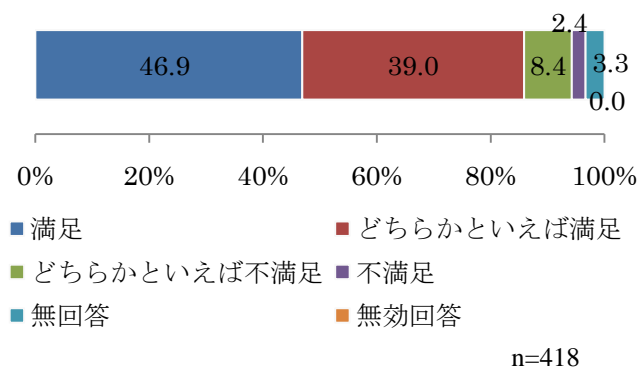
(17-1-1) 病院を移ったきっかけは何ですか。

	回答人数 (人)	割合 (%)
医師(医療提供者)に治療前に言われた	75	17.9
医師(医療提供者)に治療後に言われた	63	15.1
自分で決めた	195	46.7
その他	73	17.5
無回答	8	1.9
無効回答	4	1.0
計	418	100.0



(17-1-2) 転院は満足 of いくものでしたか。

	回答人数 (人)	割合 (%)
満足	196	46.9
どちらかといえば満足	163	39.0
どちらかといえば不満足	35	8.4
不満足	10	2.4
無回答	14	3.3
無効回答	0	0.0
計	418	100.0



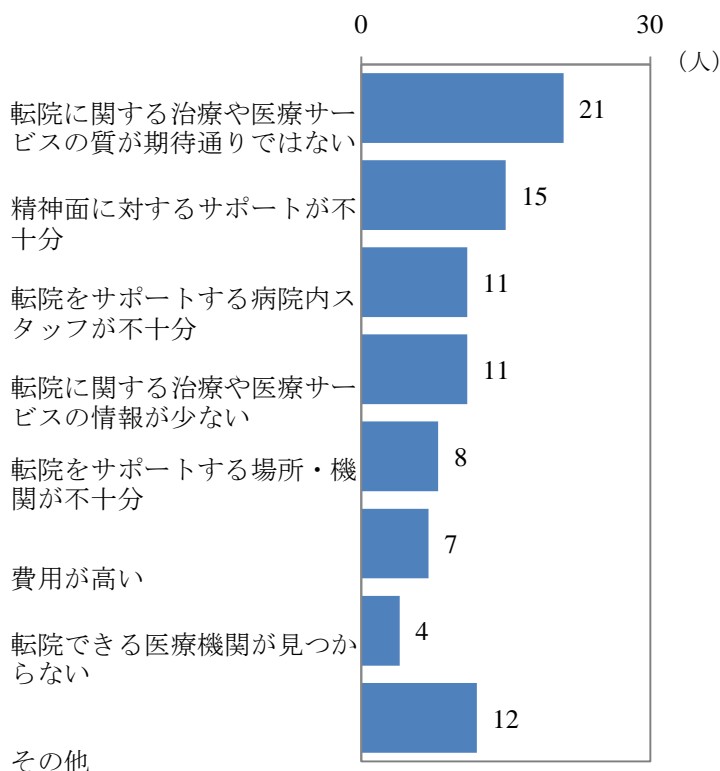
注) 四捨五入のため、割合(%)の合計値があわない場合がございます



(17-1-3)「どちらかといえば不満足」「不満足」と答えた方に質問します。不満足と感じた理由は何ですか。(複数回答可)

	回答人数 (人)	割合 (%)
転院に関する治療や医療サービスの質が期待通りではない	21	46.7
精神面に対するサポートが不十分	15	33.3
転院をサポートする病院内スタッフが不十分	11	24.4
転院に関する治療や医療サービスの情報が少ない	11	24.4
転院をサポートする場所・機関が不十分	8	17.8
費用が高い	7	15.6
転院できる医療機関が見つからない	4	8.9
その他	12	26.7
ひとつも回答なし	1	2.2

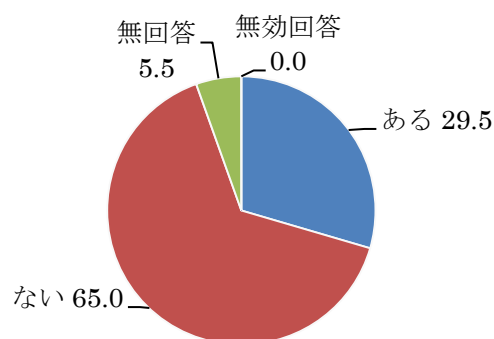
一人当たり平均回答個数 2.0



n=45

(18) 治療後のフォローアップ(治療によって起こった副作用、後遺症、障がいへの対応や心の悩みへのサポート)を受けたことはありますか。

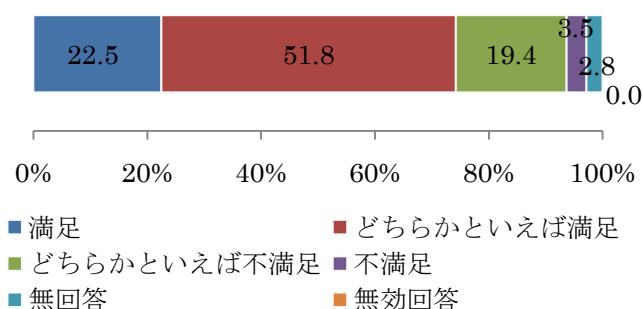
	回答人数 (人)	割合 (%)
ある	427	29.5
ない	940	65.0
無回答	79	5.5
無効回答	0	0.0
計	1,446	100.0



単位(%), n=1,446

(18-1)「ある」と答えた方に質問します。治療後のフォローアップは満足のいくものでしたか。

	回答人数 (人)	割合 (%)
満足	96	22.5
どちらかといえば満足	221	51.8
どちらかといえば不満足	83	19.4
不満足	15	3.5
無回答	12	2.8
無効回答	0	0.0
計	427	100.0



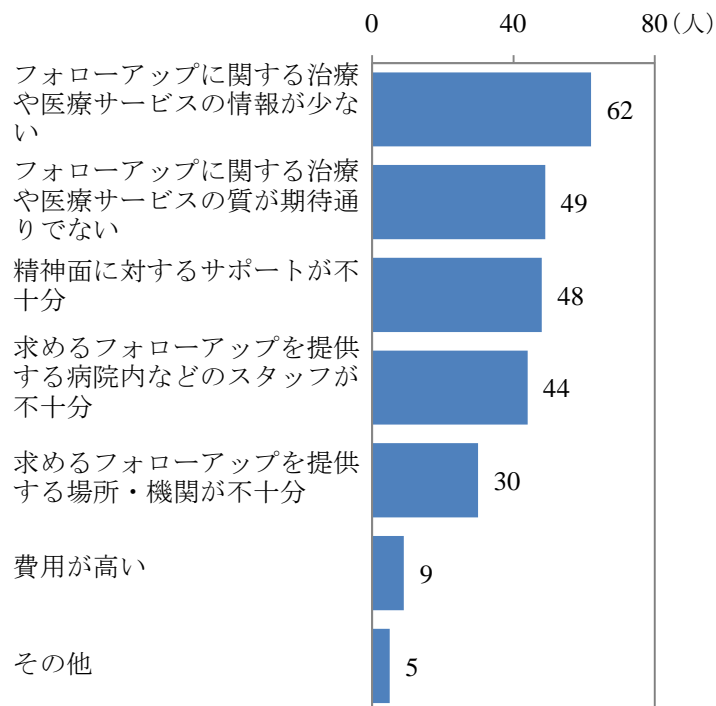
n=427

注) 四捨五入のため、割合 (%) の合計値が100%にならない場合がございます

(18-1-1)「どちらかといえば不満足」「不満足」と答えた方に質問します。不満足と感じた理由は何ですか。

	回答人数 (人)	割合 (%)
フォローアップに関する治療や医療サービスの情報が少ない	62	63.3
フォローアップに関する治療や医療サービスの質が期待通りでない	49	50.0
精神面に対するサポートが不十分	48	49.0
求めるフォローアップを提供する病院内などのスタッフが不十分	44	44.9
求めるフォローアップを提供する場所・機関が不十分	30	30.6
費用が高い	9	9.2
その他	5	5.1
ひとつも回答なし	0	0.0

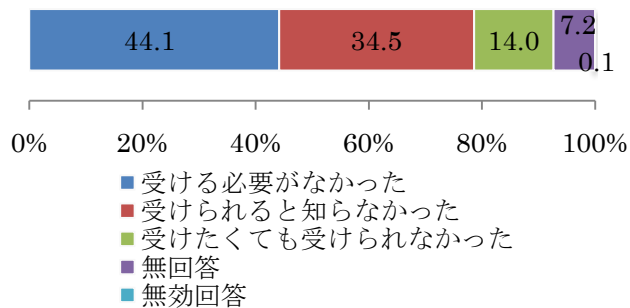
一人当たり平均回答個数 2.5



n=98

(18-2)「ない」と答えた方に質問します。治療後のフォローアップを受けなかった理由はなぜですか。

	回答人数 (人)	割合 (%)
受ける必要がなかった	415	44.1
受けられると知らなかった	324	34.5
受けたくても受けられなかった	132	14.0
無回答	68	7.2
無効回答	1	0.1
計	940	100.0



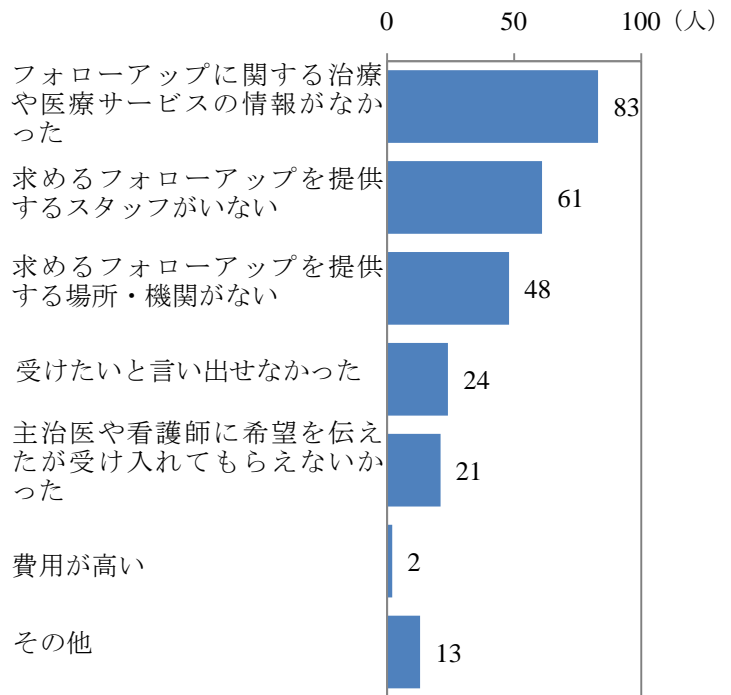
n=940

注 四捨五入のため、割合 (%) の合計値が合わない場合がございます

(18-2-1)「受けたくても受けられなかった」と答えた方に質問します。理由は何ですか。

	回答人数 (人)	割合 (%)
フォローアップに関する治療や医療サービスの情報がなかった	83	62.9
求めるフォローアップを提供するスタッフがいらない	61	46.2
求めるフォローアップを提供する場所・機関がない	48	36.4
受けたいと言い出せなかった	24	18.2
主治医や看護師に希望を伝えたが受け入れてもらえないかった	21	15.9
費用が高い	2	1.5
その他	13	9.8
ひとつも回答なし	0	0.0

一人当たり平均回答個数 1.9

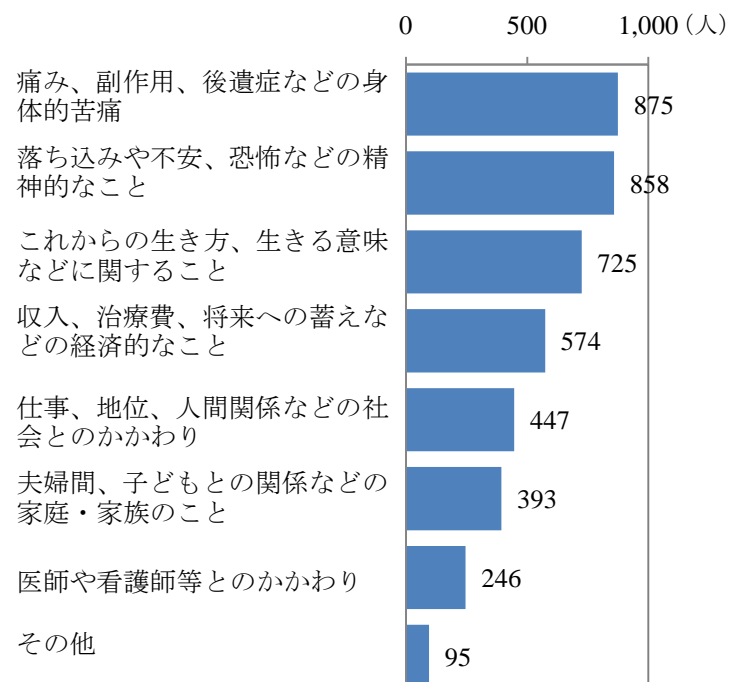


n=132

(19) がんの診断や治療を通して、どのようなことについて悩みましたか。

	回答人数 (人)	割合 (%)
痛み、副作用、後遺症などの身体的苦痛	875	60.5
落ち込みや不安、恐怖などの精神的なこと	858	59.3
これからの生き方、生きる意味などに関すること	725	50.1
収入、治療費、将来への蓄えなどの経済的なこと	574	39.7
仕事、地位、人間関係などの社会とのかかわり	447	30.9
夫婦間、子どもとの関係などの家庭・家族のこと	393	27.2
医師や看護師等とのかかわり	246	17.0
その他	95	6.6
ひとつも回答なし	50	3.5

一人当たり平均回答個数 2.9



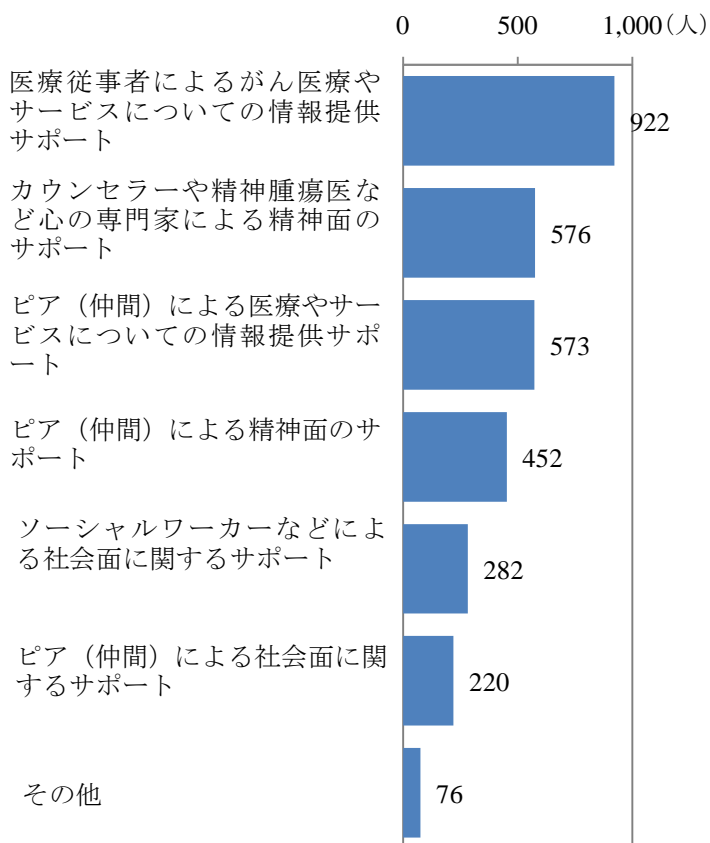
n=1,446

注 四捨五入のため、割合 (%) の合計値が合わない場合がございます

(20) がんの診断や治療を通して、どのようなサポートがあれば良かったと思いますか。

	回答人数 (人)	割合 (%)
医療従事者によるがん医療やサービスについての情報提供サポート	922	63.8
カウンセラーや精神腫瘍医など心の専門家による精神面のサポート	576	39.8
ピア（仲間）による医療やサービスについての情報提供サポート	573	39.6
ピア（仲間）による精神面のサポート	452	31.3
ソーシャルワーカーなどによる社会面に関するサポート	282	19.5
ピア（仲間）による社会面に関するサポート	220	15.2
その他	76	5.3
ひとつも回答なし	121	8.4

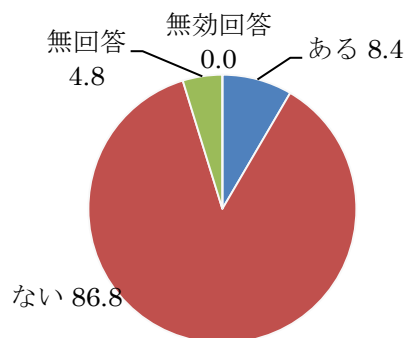
一人当たり平均回答個数 2.1



n=1,446

(21) はじめの主な治療が終了したあと、がんの治療やケアを通してこれからどの医療機関にかかれば良いかわからない状況（いわゆる「がん難民」といわれる状況）に置かれたことはありますか。

	回答人数 (人)	割合 (%)
ある	122	8.4
ない	1,255	86.8
無回答	69	4.8
無効回答	0	0.0
計	1,446	100.0



単位(%), n=1,446

注 四捨五入のため、割合 (%) の合計値があわない場合がございます

(21-1) 「ある」と答えた方に質問します。そのようになった理由は何だと思いませんか。

	回答人数 (人)	割合 (%)
医療機関の選択肢について情報が得られなかった	56	45.9
医療機関同士のつながりがなく、転院先を紹介してもらえなかった	33	27.0
移ることのできる医療機関が適切な場所に存在しなかった	25	20.5
その他	42	34.4
ひとつも回答なし	6	4.9

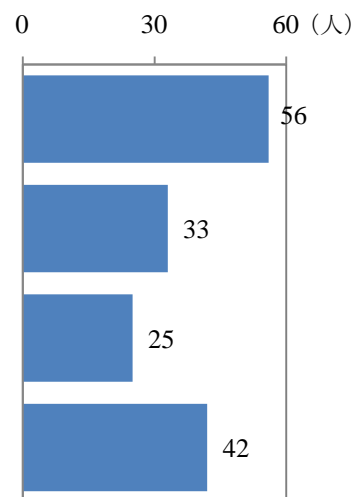
一人当たり平均回答個数 1.3

医療機関の選択肢について情報が得られなかった

医療機関同士のつながりがなく、転院先を紹介してもらえなかった

移ることのできる医療機関が適切な場所に存在しなかった

その他



n=122

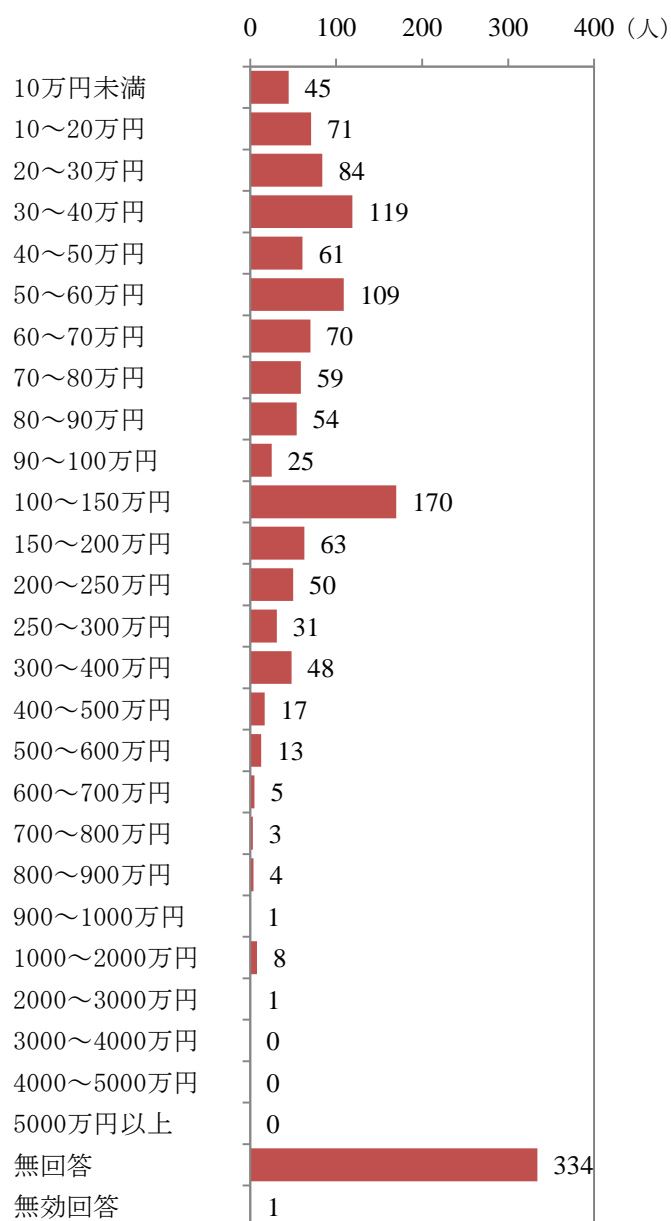
注 四捨五入のため、割合 (%) の合計値が合わない場合がございます

(22) がん治療やその後遺症軽減のために支払った費用はおよそいくらですか。もっとも費用のかかった 1 年間(1～12 月)の合計額について分かる範囲でお答えください。なお、高額療養費制度などを利用し医療費の払い戻しがあった場合には、それを差し引いた額(結果的に自己負担となった額)を記入してください。

E.総額

	回答人数 (人)	割合 (%)
10 万円未満	45	3.1
10～20 万円	71	4.9
20～30 万円	84	5.8
30～40 万円	119	8.2
40～50 万円	61	4.2
50～60 万円	109	7.5
60～70 万円	70	4.8
70～80 万円	59	4.1
80～90 万円	54	3.7
90～100 万円	25	1.7
100～150 万円	170	11.8
150～200 万円	63	4.4
200～250 万円	50	3.5
250～300 万円	31	2.1
300～400 万円	48	3.3
400～500 万円	17	1.2
500～600 万円	13	0.9
600～700 万円	5	0.3
700～800 万円	3	0.2
800～900 万円	4	0.3
900～1000 万円	1	0.1
1000～2000 万円	8	0.6
2000 万円～3000 万円	1	0.1
3000 万円～4000 万円	0	0.0
4000 万円～5000 万円	0	0.0
5000 万円以上	0	0.0
無回答	334	23.1
無効回答	1	0.1
計	1,446	100.0

かかった費用の平均 115 万円  
 最大値 2,000 万円  
 最小値 0 万円

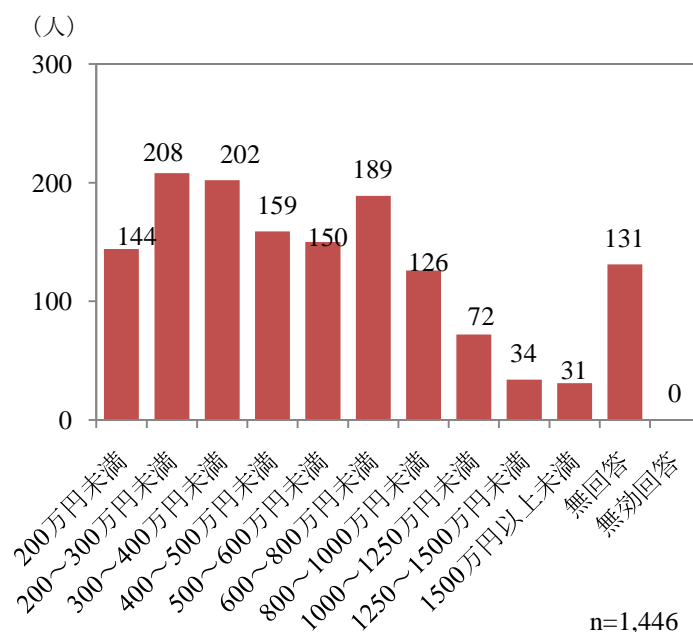


n=1,446

注) 四捨五入のため、割合 (%) の合計値が100.0でない場合がございます

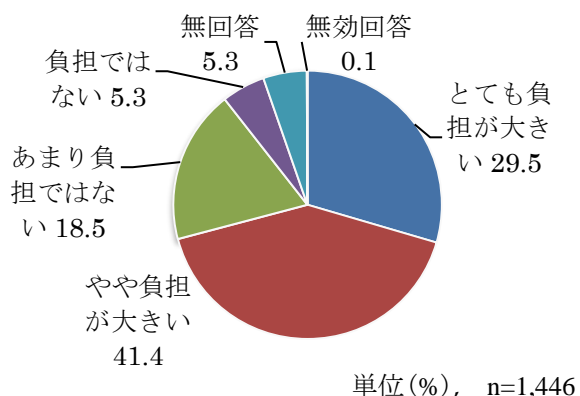
(23) もっとも費用のかかった1年間の世帯年収はどのくらいですか。

	回答人数 (人)	割合 (%)
200万円未満	144	10.0
200～300万円未満	208	14.4
300～400万円未満	202	14.0
400～500万円未満	159	11.0
500～600万円未満	150	10.4
600～800万円未満	189	13.1
800～1000万円未満	126	8.7
1000～1250万円未満	72	5.0
1250～1500万円未満	34	2.4
1500万円以上未満	31	2.1
無回答	131	9.1
無効回答	0	0.0
計	1,446	100.0



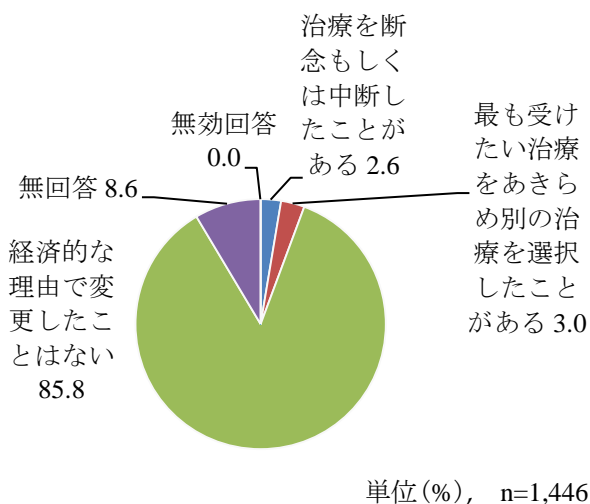
(24) がんの治療にかかった費用は、どの程度の負担感がありましたか。

	回答人数 (人)	割合 (%)
とても負担が大きい	427	29.5
やや負担が大きい	598	41.4
あまり負担ではない	268	18.5
負担ではない	76	5.3
無回答	76	5.3
無効回答	1	0.1
計	1,446	100.0



(25) 経済的な負担が原因となり、治療を変更したことはありますか。

	回答人数 (人)	割合 (%)
治療を断念もしくは中断したことがある	38	2.6
最も受けた治療をあきらめ別の治療を選択したことがある	44	3.0
経済的な理由で変更したことはない	1,240	85.8
無回答	124	8.6
無効回答	0	0.0
計	1,446	100.0

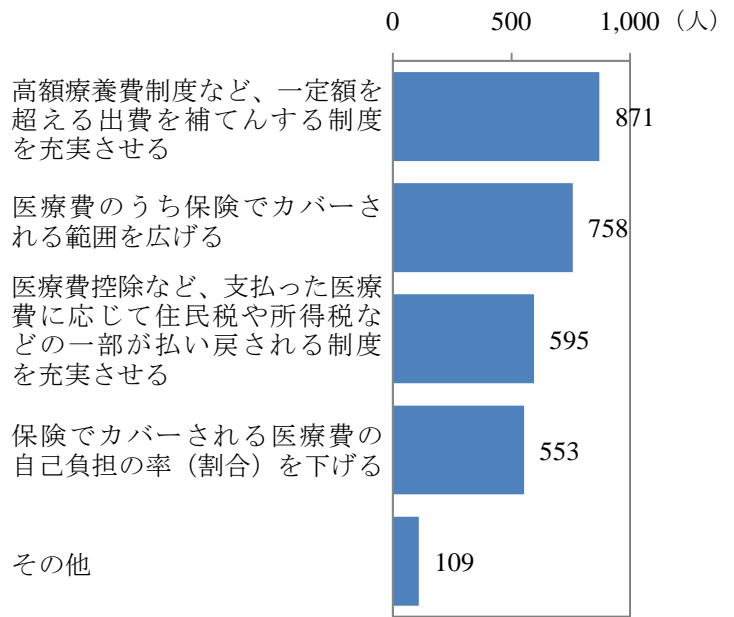


注 四捨五入のため、割合 (%) の合計値があわない場合がございます

(26) 経済的な負担を軽減するには、どのような方法がよいと思いますか。

	回答人数 (人)	割合 (%)
高額療養費制度など、一定額を超える出費を補てんする制度を充実させる	871	60.2
医療費のうち保険でカバーされる範囲を広げる	758	52.4
医療費控除など、支払った医療費に応じて住民税や所得税などの一部が払い戻される制度を充実させる	595	41.1
保険でカバーされる医療費の自己負担の率（割合）を下げる	553	38.2
その他	109	7.5
ひとつも回答なし	77	8.5

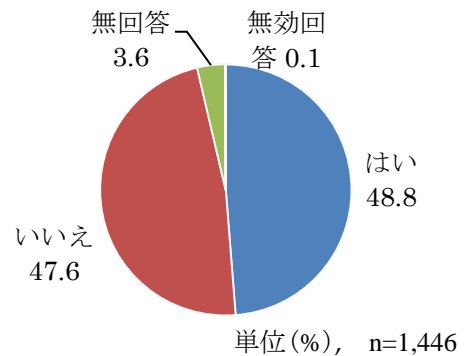
一人当たり平均回答個数 2.0



n=1,446

(27) がんと診断される前にがん検診を受けていましたか。

	回答人数 (人)	割合 (%)
はい	705	48.8
いいえ	688	47.6
無回答	52	3.6
無効回答	1	0.1
計	1,446	100.0

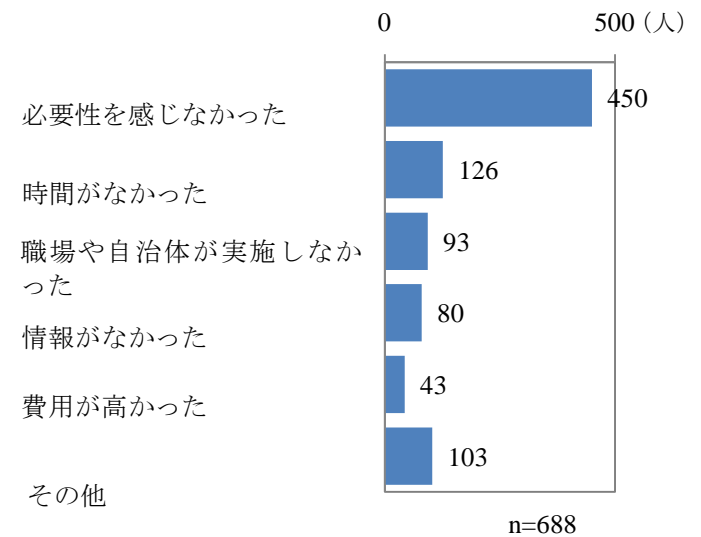


単位(%), n=1,446

(27-1) 「いいえ」と答えた方に質問します。がん検診を受けていなかった理由は何ですか。

	回答人数 (人)	割合 (%)
必要性を感じなかった	450	65.4
時間がなかった	126	18.3
職場や自治体の実施しなかった	93	13.5
情報がなかった	80	11.6
費用が高かった	43	6.3
その他	103	15.0
ひとつも回答なし	23	3.3

一人当たり平均回答個数 1.3



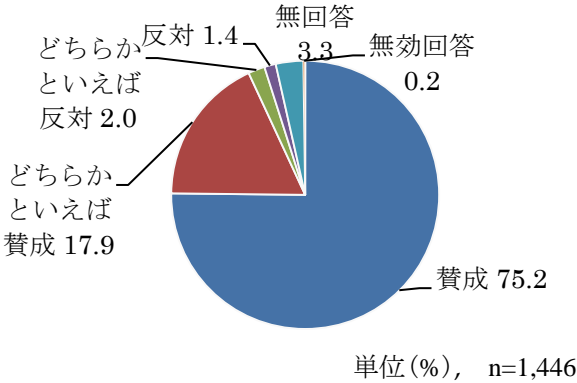
n=688

注) 四捨五入のため、割合 (%) の合計値があわない場合がございます



(28) たばこによる健康被害の抑制(たばこ対策)を強化することについてどう思いますか。

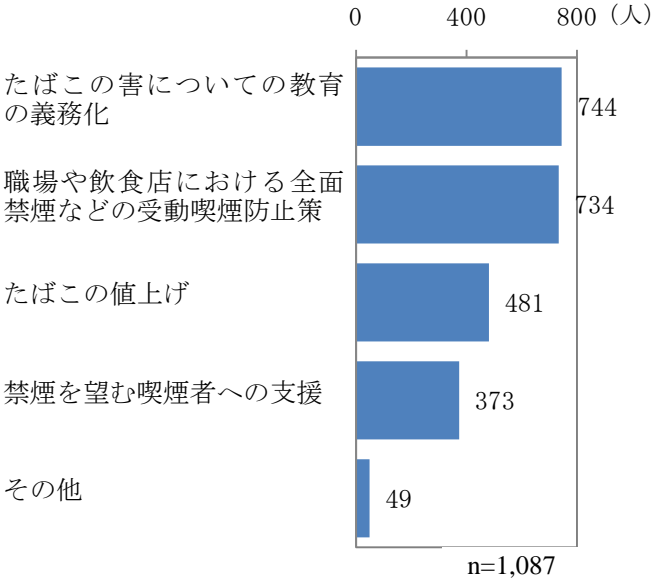
	回答人数 (人)	割合 (%)
賛成	1,087	75.2
どちらかといえば賛成	259	17.9
どちらかといえば反対	29	2.0
反対	20	1.4
無回答	48	3.3
無効回答	3	0.2
計	1,446	100.0



(28-1) 「賛成」と答えた方に質問します。さらに強化すべきことは何であると思いますか。

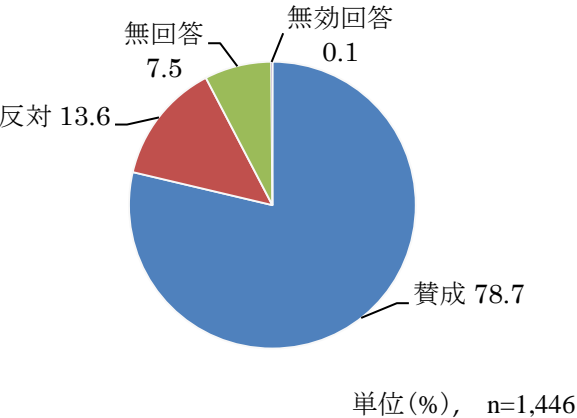
	回答人数 (人)	割合 (%)
たばこの害についての教育の義務化	744	68.4
職場や飲食店における全面禁煙などの受動喫煙防止策	734	67.5
たばこの値上げ	481	44.3
禁煙を望む喫煙者への支援	373	34.3
その他	49	4.5
ひとつも回答なし	47	4.3

一人当たり平均回答個数 2.2



(29) たばこの値上げについてどう考えますか。

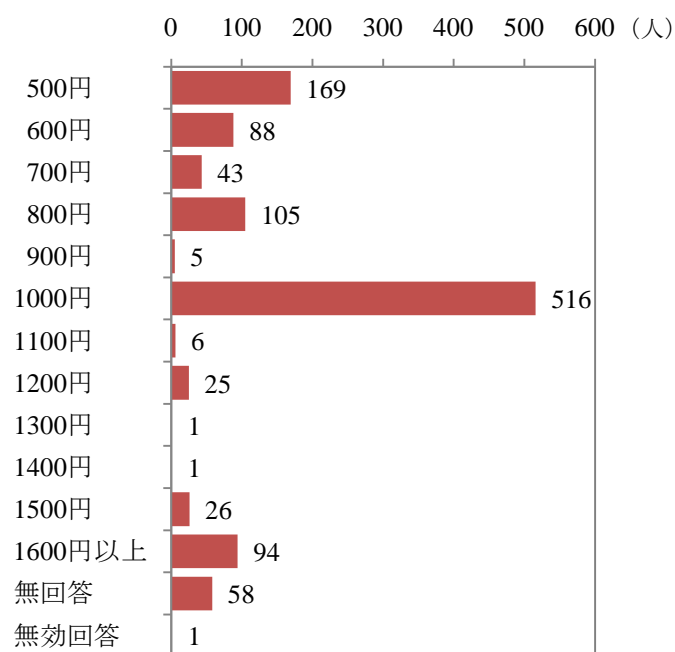
	回答人数 (人)	割合 (%)
賛成	1,138	78.7
反対	197	13.6
無回答	109	7.5
無効回答	2	0.1
計	1,446	100.0



注 四捨五入のため、割合 (%) の合計値があわない場合がございます  
21

(29-1)「賛成」と答えた方に質問します。現在約 400 円のたばこをいくらに値上げするのが妥当であると思いますか。

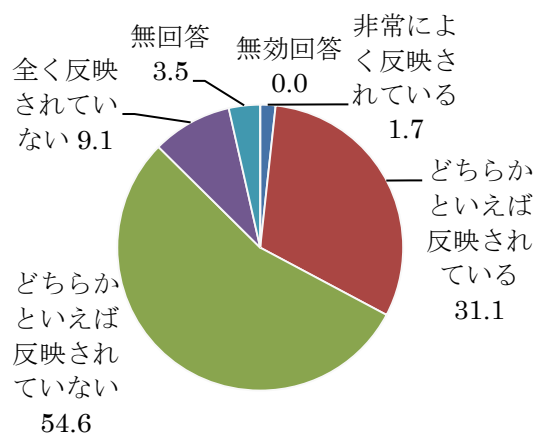
	回答人数 (人)	割合 (%)
500 円	169	14.9
600 円	88	7.7
700 円	43	3.8
800 円	105	9.2
900 円	5	0.4
1000 円	516	45.3
1100 円	6	0.5
1200 円	25	2.2
1300 円	1	0.1
1400 円	1	0.1
1500 円	26	2.3
1600 円以上	94	8.3
無回答	58	5.1
無効回答	1	0.1
計	1,138	100.0



n=1,138

(30) がん患者の声は、現在どの程度がんの医療政策に反映されていると思いますか。

	回答人数 (人)	割合 (%)
非常によく反映されている	25	1.7
どちらかといえば反映されている	449	31.1
どちらかといえば反映されていない	790	54.6
全く反映されていない	131	9.1
無回答	51	3.5
無効回答	0	0.0
計	1,446	100.0



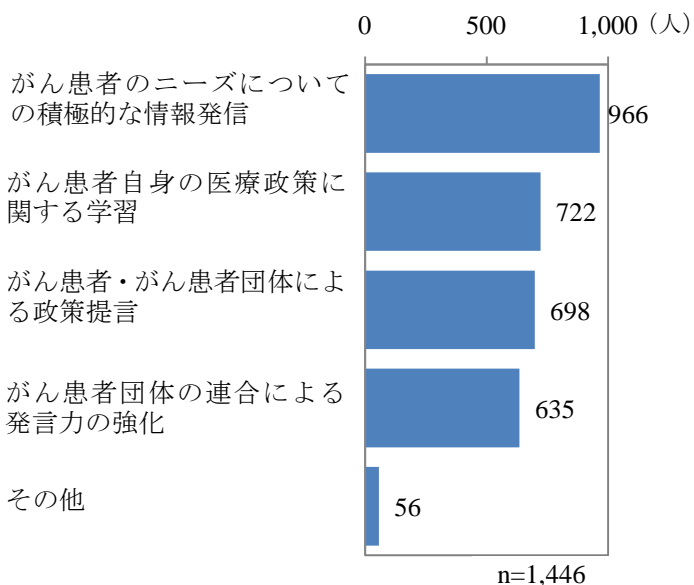
単位(%), n=1,446

注) 四捨五入のため、割合 (%) の合計値が合わない場合がございます

(31) がん患者の声を実際に反映させるために、がん患者がより積極的に行うべきことは何だと思いますか。

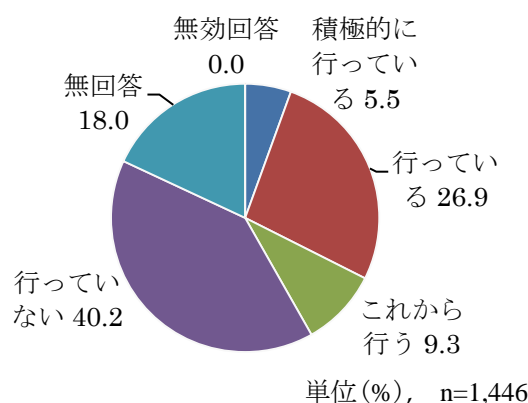
	回答人数 (人)	割合 (%)
がん患者のニーズについての積極的な情報発信	966	66.8
がん患者自身の医療政策に関する学習	722	49.9
がん患者・がん患者団体による政策提言	698	48.3
がん患者団体の連合による発言力の強化	635	43.9
その他	56	3.9
ひとつも回答なし	77	5.3

一人当たり平均回答個数 2.1



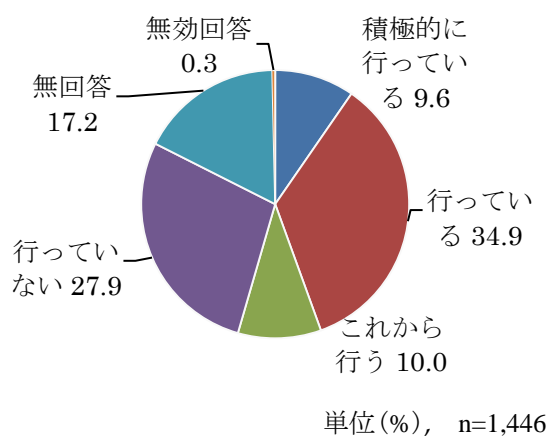
(31-1) がん患者のニーズについての積極的な情報発信をどの程度行っていますか。

	回答人数 (人)	割合 (%)
積極的に行っている	80	5.5
行っている	389	26.9
これから行う	135	9.3
行っていない	581	40.2
無回答	261	18.0
無効回答	0	0.0
計	1,446	100.0



(31-2) がん患者自身の医療政策に関する学習を実際にどの程度行っていますか。

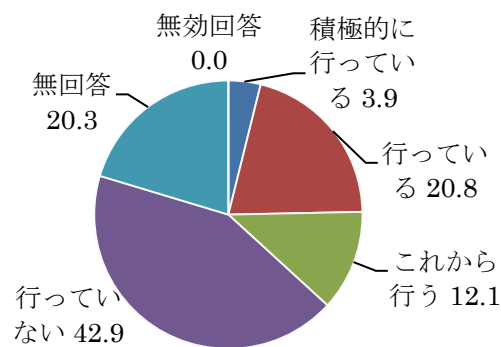
	回答人数 (人)	割合 (%)
積極的に行っている	139	9.6
行っている	504	34.9
これから行う	145	10.0
行っていない	404	27.9
無回答	249	17.2
無効回答	5	0.3
計	1,446	100.0



注 四捨五入のため、割合 (%) の合計値が合わない場合がございます

(31-3) がん患者・がん患者団体による政策提言を実際にどの程度行っていますか。

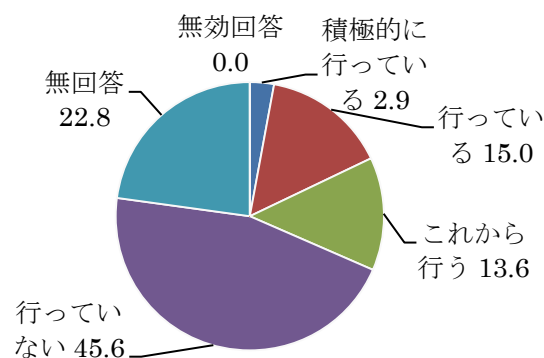
	回答人数 (人)	割合 (%)
積極的に行っている	56	3.9
行っている	301	20.8
これから行う	175	12.1
行っていない	620	42.9
無回答	294	20.3
無効回答	0	0.0
計	1,446	100.0



単位(%), n=1,446

(31-4) がん患者団体の連合による発言力の強化を実際にどの程度行っていますか。

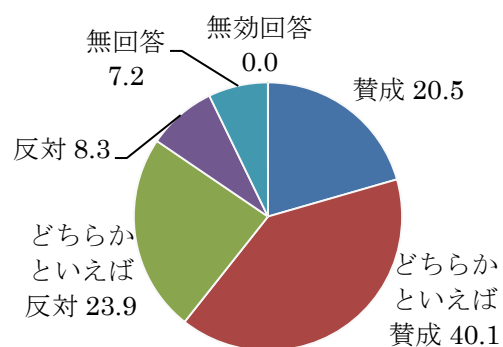
	回答人数 (人)	割合 (%)
積極的に行っている	42	2.9
行っている	217	15.0
これから行う	197	13.6
行っていない	660	45.6
無回答	330	22.8
無効回答	0	0.0
計	1,446	100.0



単位(%), n=1,446

(32) 日本の医療費総額のあるべき姿についてうかがいます。「もっと医療費を増やすべきだ」という意見について、あなたはどのように思いますか。

	回答人数 (人)	割合 (%)
賛成	297	20.5
どちらかといえば賛成	580	40.1
どちらかといえば反対	345	23.9
反対	120	8.3
無回答	104	7.2
無効回答	0	0.0
計	1,446	100.0

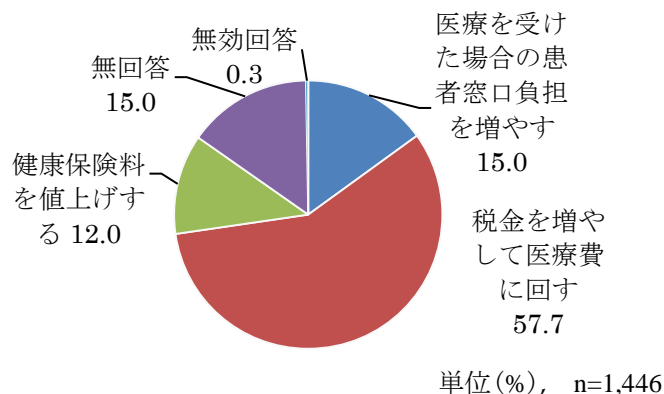


単位(%), n=1,446

注 四捨五入のため、割合 (%) の合計値が100.0にならない場合がございます

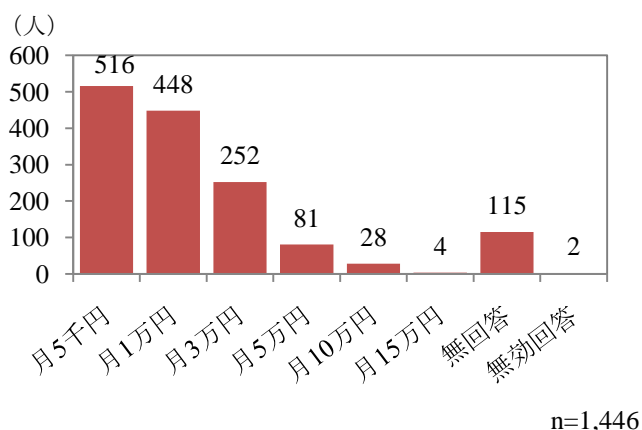
(33) 医療費を増やすことになった際の財源について、主に3つどれを主とすることがいいと思いますか。

	回答人数 (人)	割合 (%)
医療を受けた場合の患者窓口負担を増やす	217	15.0
税金を増やして医療費に回す	834	57.7
健康保険料を値上げする	174	12.0
無回答	217	15.0
無効回答	4	0.3
計	1,446	100.0



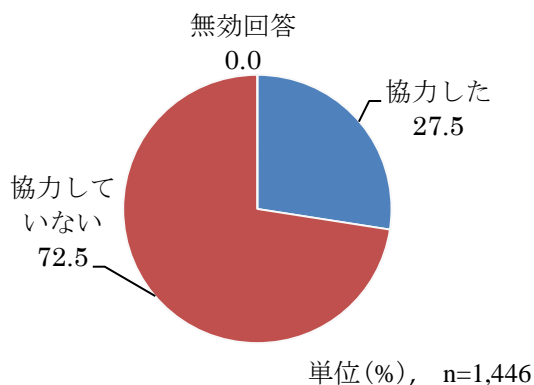
(34) 国民がより質の高いがん医療を受けられる場合、どの程度の現状以上の費用負担までなら妥当だと思いますか。

	回答人数 (人)	割合 (%)
月 5 千円	516	35.7
月 1 万円	448	31.0
月 3 万円	252	17.4
月 5 万円	81	5.6
月 10 万円	28	1.9
月 15 万円	4	0.3
無回答	115	8.0
無効回答	2	0.1
計	1,446	100.0



昨年(前回)、本アンケート調査と同様の調査にご回答いただきましたか。

	回答人数 (人)	割合 (%)
協力した	397	27.5
協力していない	1,049	72.5
無効回答	0	0.0
計	1,446	100.0



注) 四捨五入のため、割合 (%) の合計値があわない場合がございます

# 【 M E M O 】

## **患者が求めるがん対策 vol.2 ～がん患者意識調査 2010年～**

2011年4月27日 発行

### **■ 「がん患者意識調査」に関するお問い合わせ先**

日本医療政策機構 市民医療協議会 がん政策情報センター

Tel: 03-5614-7796 Fax: 03-5614-7795

調査担当: 山口 E-mail: [research-shimin@hgpi.org](mailto:research-shimin@hgpi.org)

### **■ 取材・報道等に関するお問い合わせ先**

日本医療政策機構 市民医療協議会

Tel: 03-5614-7796 Fax: 03-5614-7795

広報担当: 岩井 E-mail: [info-gan@hgpi.org](mailto:info-gan@hgpi.org)



**市民医療協議会**  
Commission on Citizens and Health

**日本医療政策機構**  
Health and Global Policy Institute